

2025年3月27日

報道関係各位

 SMBCコンシューマーファイナンス株式会社
 広報室：岡田、佐藤、田中
 (問合せ先:03-6887-1274)

20代の金銭感覚についての意識調査 2025

- ≫ 20代の貯蓄額 平均 69 万円、前回調査から 13 万円増加
- ≫ 5年間でのお小遣い額と貯蓄額の変化 お小遣い額は 1.2 倍、貯蓄額は 1.3 倍に
- ≫ 趣味や遊びなど生活費以外に使っている金額 平均 16,827 円/月、前回調査から 2,200 円減少
- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない」56.0%
夫婦になる人と同じ金銭感覚でありたいと思うもの 1位「食事」2位「娯楽・交際」3位「趣味」
- ≫ 人生を楽しむために一番大切にしたいと思うもの 1位「お金」2位「趣味」3位「家族」
20代前半男性では「趣味」、20代後半男性では「趣味」「恋人・パートナー」、
20代前半女性では「趣味」、20代後半女性では「家族」が1位
- ≫ 今の生活の豊かさ満足度 「経済的な豊かさ」41.5%、「精神的な豊かさ」54.1%
- ≫ 今の生活の総合的な満足度は 2014 年調査から 11.0 ポイント下降し 48.4%
- ≫ 20代の半数以上が結婚しようと思えるのは「年収 700 万円」、前回調査からハードルが上昇
- ≫ 「年収がどんなに多くても結婚したいと思えない」25.9%
- ≫ 「セミナーや学校・職場で“金融知識”を学んだことがある」40.0%、前回調査から 7.3 ポイント上昇
学んだことがある“金融知識” 1位「資産形成・資産運用」2位「生活設計」3位「キャリア形成」

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社(代表取締役社長:高橋 照正、<https://www.smbc-cf.com>、サービスブランド「プロミス」)は、2025年2月19日~21日の3日間、20歳~29歳の男女(有効サンプル1,000名)を対象に「20代の金銭感覚についての意識調査2025」(*)をインターネットリサーチで実施しましたので、集計結果を公開します。(調査協力会社:ネットエイジア株式会社)

*前回調査である「20代の金銭感覚についての意識調査 2024」は 2023 年 12 月に調査(2024 年 1 月 29 日発表)しております。

- TOPICS -

【20代のお小遣い・貯蓄事情】 p.4~p.10

- ≫ 20代の毎月のお小遣い 平均 34,605 円、前回調査から 2,491 円減少 …p.4
- ≫ 20代の貯蓄額 平均 69 万円、前回調査から 13 万円増加 …p.5
- ≫ 5年間でのお小遣い額と貯蓄額の変化 お小遣い額は 1.2 倍、貯蓄額は 1.3 倍に …p.6
- ≫ 「現在の貯蓄状況に不安を感じている」20代の3人に2人 …p.7
- ≫ 「老後の生活資金は年金だけでは不十分だと思う」86.4% …p.8
- ≫ 「老後が不安」69.2%、女性では 74.6% …p.8
- ≫ 仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できるか 平均は 1,969 万円、前回調査から 226 万円減少 …p.9
- ≫ 「預貯金をしている」56.2%、預貯金している金額は平均 33,444 円/月 …p.10
- ≫ 「貯蓄型保険に加入している」14.5%、貯蓄型保険に払っている金額は平均 10,894 円/月 …p.10

【20代の消費意識と消費実態】 p.11～p.29

- ≫ お小遣いを使いすぎたと感じる金額 平均 34,818 円/月、前回調査から 4,847 円減少 …p.11
- ≫ 趣味や遊びなど生活費以外に使っている金額 平均 16,827 円/月、前回調査から 2,200 円減少 …p.12
- ≫ 「“お金を使うこと”より、“お金を貯めること”に喜びを感じる」65.5% …p.13
- ≫ 「“少し背伸びして、良いもの(好きなもの・欲しいもの)にお金をかけること”に喜びを感じる」52.6% …p.13
- ≫ 「多少高くても、社会のためになる活動をしている企業の商品・サービスを購入したい」37.1% …p.13
- ≫ 物価上昇が続くなか、優先的に家計を振り分けたい費目 1位「食費」2位「趣味・レジャー費」3位「貯蓄」 …p.15
- ≫ 節約のために行っていること 1位「貯めたポイントを利用」2位「クーポンを利用」3位「100円ショップを利用」 …p.16
- ≫ 20代の消費の矛先は？「自分の趣味嗜好に合う“もの”や“こと”にお金をかけたい」69.0%、
「友人とのつながりを感じるための“もの”や“こと”にお金をかけたい」52.9%、
「SNS 映えしそうな“もの”や“こと”にお金をかけたい」31.1%、
「一人で行動・消費することにお金をかけたい」51.7%、「ストレスを発散するためにお金をかけたい」52.8% …p.17
- ≫ ゲーム課金に対する意識
 - 「お金を使ってもゲームを有利に進めたい」17.9%、「お金を使わないと楽しく遊べない」20.8%、
 - 「アイテム・キャラ入手のためのお金は惜しみたくない」22.0%、
 - 「ゲームでレアアイテム・キャラを入手すると誇らしい気持ちになる」33.3% …p.19
- ≫ 「ゲーム課金をしている」21.6%、かけている金額は平均 4,247 円/月 …p.20
- ≫ 「ゲーム課金で生活に困ったことがある」18.8%、「ゲーム課金に後悔したことがある」23.9% …p.20
- ≫ 「サブスクサービスを利用したい」46.2%、「レンタルやシェアサービスを利用したい」34.6% …p.21
- ≫ サブスクサービスにかけている金額の全体平均は 1,803 円/月 …p.22
- ≫ 「現在、投資をしている」26.8%
 - ひと月あたりに投資に回している金額は平均 24,610 円、前回調査から 1,021 円増加 …p.23
- ≫ 「2014年1月にスタートした“NISA”を知っている」74.0% …p.25
- ≫ 「2024年1月にスタートした“新しいNISA(新NISA)”を知っている」69.6% …p.25
- ≫ 「“新しいNISA(新NISA)”を既に利用している」21.0%、会社員では 32.3% …p.25
- ≫ 「自己投資にお金をかけたい」56.3%、「自分磨きにお金をかけたい」60.1% …p.27
- ≫ 「自己投資にお金をかけている」29.6%、かけているお金は平均 7,064 円/月 …p.28
- ≫ 「自分磨きにお金をかけている」59.4%、かけているお金は平均 8,279 円/月 …p.28
- ≫ 「社会のためになる商品・サービスにお金をかけている」18.3%
 - かけているお金は平均 4,406 円/月、前回調査から 457 円減少 …p.29

【20代のマネー意識と豊かさ実感】 p.30～p.36

- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは友達になりたくない」40.1%、「金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくない」48.9% …p.30
- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない」56.0%
 - 夫婦になる人と同じ金銭感覚でありたいと思うもの 1位「食事」2位「娯楽・交際」3位「趣味」 …p.30
- ≫ 「幸せになるにはお金が必要」58.7% …p.30

- ≫ 人生を楽しむために一番大切にしたいと思うもの 1位「お金」2位「趣味」3位「家族」
 20代前半男性では「趣味」、20代後半男性では「趣味」「恋人・パートナー」、
 20代前半女性では「趣味」、20代後半女性では「家族」が1位 ……p.32
- ≫ 「これまでに自分の金銭感覚が変化したことがある」56.8%
 変化したきっかけ 1位「一人暮らしを始めた」2位「クレジットカードを作った」3位「アルバイトを始めた」 ……p.33
- ≫ 夢や目標を実現するための費用の準備方法 TOP3 は「働く」「預貯金する」「投資する」 ……p.34
- ≫ 金融サービスのメリット・デメリットの理解率 「投資」は3割未満、「クレジットカード・ローンの利用」は2割にとどまる
 ……p.35
- ≫ 今の生活の豊かさ満足度 「経済的な豊かさ」41.5%、「精神的な豊かさ」54.1% ……p.36
- ≫ 今の生活の総合的な満足度は2014年調査から11.0ポイント下降し48.4% ……p.36

【ライフイベントと収入事情】 p.37～p.41

- ≫ 20代の半数以上が結婚しようと思えるのは「年収700万円」、前回調査からハードルが上昇 ……p.37
- ≫ 「年収がどんなに多くても結婚したいと思えない」25.9% ……p.37
- ≫ 20代の半数以上が1人目の子育てに前向きになるのは「年収800万円」、前回調査からハードルが上昇 ……p.38
- ≫ 20代の半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは「年収600万円」 ……p.39
- ≫ 20代の半数以上が住宅を購入しようと思えるのは「年収900万円」 ……p.39
- ≫ 「最近3年以内にした転職の目的には年収のアップが含まれていた」最近3年以内に転職をした人の54.4% ……p.41
- ≫ 最近3年以内に転職をした人で転職の目的に年収のアップが含まれていた人の86.3%が「年収がアップした」と回答
 ……p.41

【20代のマネートラブル経験と金融リテラシー】 p.42～p.46

- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある」20代の5人に1人
 経験した詐欺被害 TOP3 は「ネットオークション詐欺」「マルチ商法・ねずみ講」「フィッシング詐欺」 ……p.42
- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある」20代の4人に1人 ……p.42
- ≫ 「セミナーや学校・職場で“金融知識”を学んだことがある」40.0%、前回調査から7.3ポイント上昇
 学んだことがある“金融知識” 1位「資産形成・資産運用」2位「生活設計」3位「キャリア形成」 ……p.44
- ≫ これから学びたいと思う“金融知識” 1位「資産形成・資産運用」2位「生活設計」3位「保険・リスク管理」 ……p.44
- ≫ 「“信用スコア”の存在を知っていた」18.6%、会社員では25.3% ……p.45
- ≫ 「自分の“信用スコア”を確認したい」29.8%、信用スコアの存在を知っていた人では66.7% ……p.45
- ≫ 「自分の“信用スコア”を確認した」信用スコアの存在を知っていた人の33.3% ……p.45

アンケート調査結果

【20代のお小遣い・貯蓄事情】

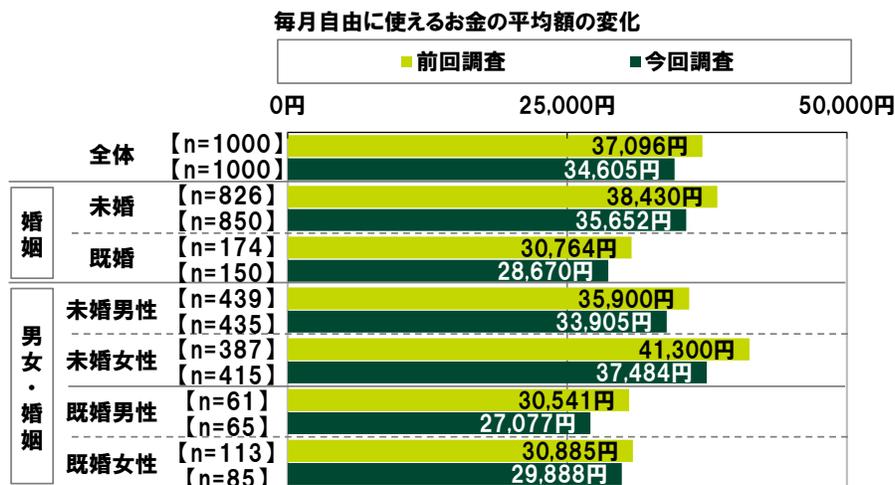
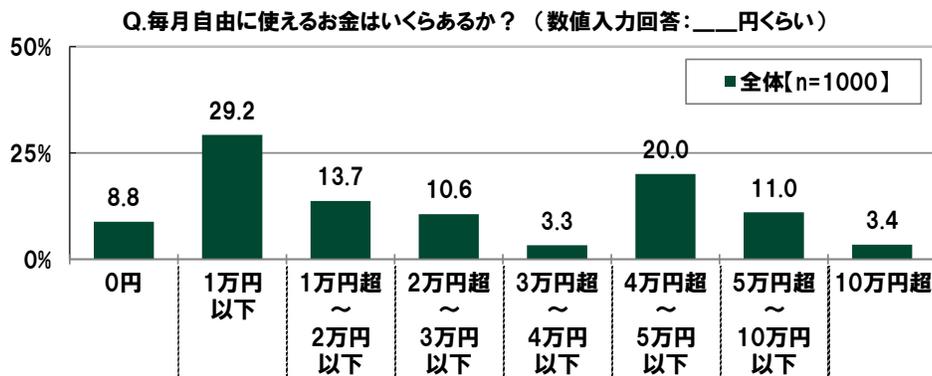
 ≫ 20代の毎月のお小遣い 平均 34,605円、前回調査から 2,491円減少

全国の20歳～29歳の男女1,000名(全回答者)に対し、毎月自由に使えるお金はいくらあるか聞いたところ、「1万円以下」(29.2%)や「1万円超～2万円以下」(13.7%)、「4万円超～5万円以下」(20.0%)に多くの回答が集まり、平均は34,605円でした。

前回の調査結果(※1)と比較すると、毎月自由に使えるお金の平均は2,491円の減少(前回調査37,096円→今回調査34,605円)となりました。

婚姻状況別にみると、未婚男性では1,995円の減少(前回調査35,900円→今回調査33,905円)、未婚女性では3,816円の減少(前回調査41,300円→今回調査37,484円)、既婚男性では3,464円の減少(前回調査30,541円→今回調査27,077円)、既婚女性では997円の減少(前回調査30,885円→今回調査29,888円)と、いずれの層でも減少する結果となりました。

※1: SMBCコンシューマーファイナンス「20代の金銭感覚についての意識調査 2024」より



≫ 20代の貯蓄額 平均 69万円、前回調査から 13万円増加

貯蓄状況について質問しました。

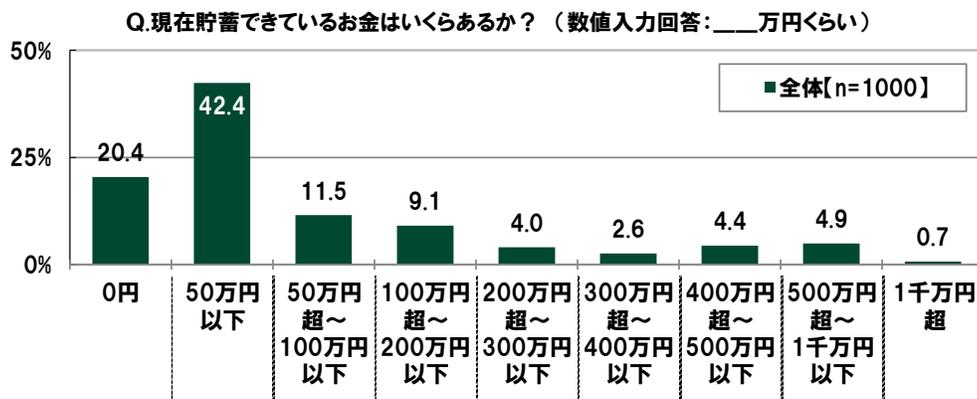
現時点で、どのくらいの貯蓄ができているか聞いたところ、「50万円以下」(42.4%)に最も多くの回答が集まったほか、「50万円超～100万円以下」(11.5%)にも回答がみられ、調整平均(※2)は69万円でした。また、「0円」は20.4%となりました。

前回の調査結果と比較すると、現在貯蓄できているお金の調整平均は13万円の増加(前回調査 56万円→今回調査 69万円)となりました。

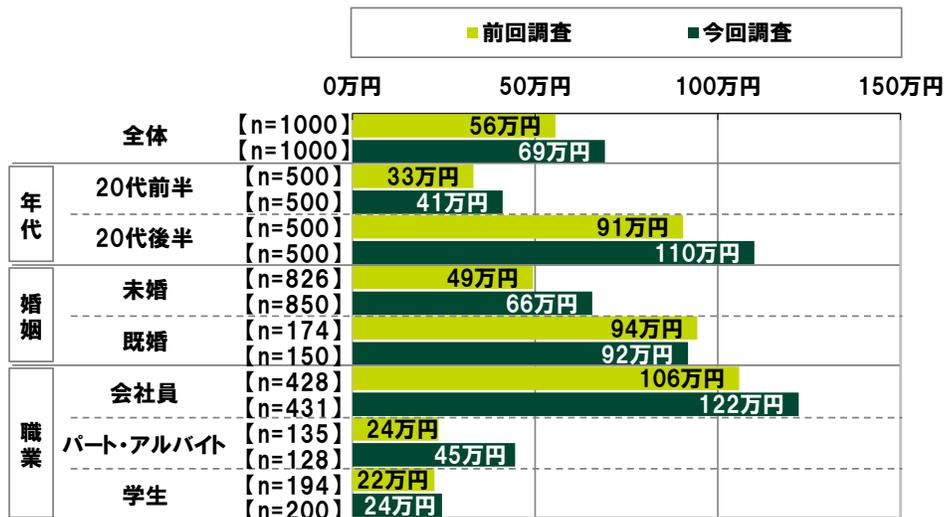
婚姻状況別にみると、未婚者では17万円の増加(前回調査 49万円→今回調査 66万円)となったのに対し、既婚者では2万円の減少(前回調査 94万円→今回調査 92万円)となりました。

職業別にみると、会社員では16万円の増加(前回調査 106万円→今回調査 122万円)、パート・アルバイトでは21万円の増加(前回調査 24万円→今回調査 45万円)、学生では2万円の増加(前回調査 22万円→今回調査 24万円)と、いずれも増加傾向がみられました。

※2: 当該設問では、上位数%のデータにみられた極端な値(貯蓄額が数億円など)の影響を除外するため、10%調整平均(上位と下位からそれぞれ10%のデータを除外して算出した相加平均)を利用しています。



現在貯蓄できているお金の調整平均額の変化

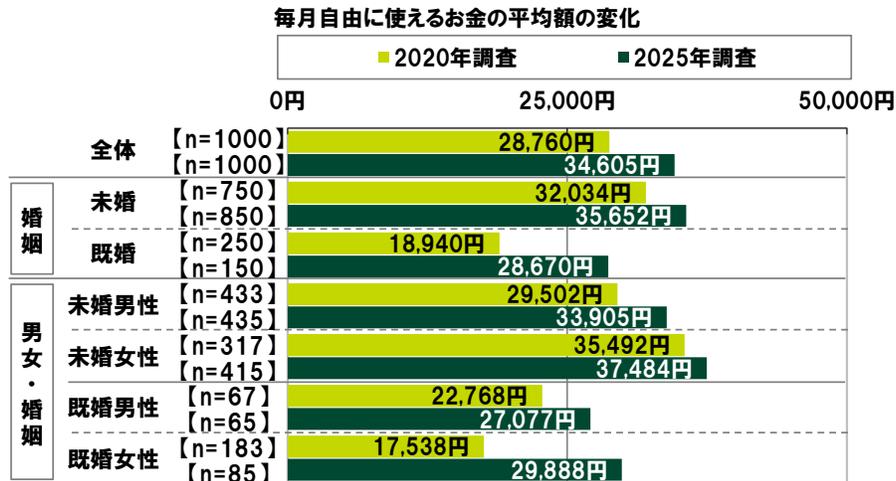


≫ 5年間でのお小遣い額と貯蓄額の変化 お小遣い額は1.2倍、貯蓄額は1.3倍に

ここで、5年前の調査結果(※3)と比較すると、毎月自由に使えるお金の平均は、2020年 28,760円→2025年 34,605円と、5,845円の増加となりました。5年間でお小遣い額は1.2倍になっているようです。

婚姻状況別にみると、未婚男性では4,403円の増加(2020年 29,502円→2025年 33,905円)、未婚女性では1,992円の増加(2020年 35,492円→2025年 37,484円)、既婚男性では4,309円の増加(2020年 22,768円→2025年 27,077円)、既婚女性では12,350円の増加(2020年 17,538円→2025年 29,888円)となりました。

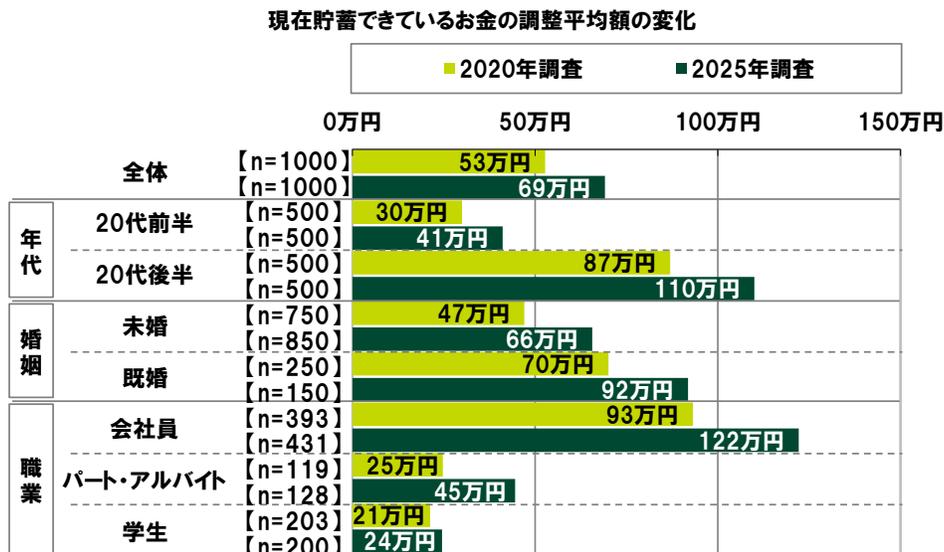
※3: SMBCコンシューマーファイナンス「20代・30代・40代の金銭感覚についての意識調査 2020」より、属性別の結果を再集計



また、現在貯蓄できているお金の調整平均は、2020年 53万円→2025年 69万円と、16万円の増加となりました。お小遣い額と同様に増加傾向がみられ、5年間で貯蓄額は1.3倍になっていることがわかりました。

婚姻状況別にみると、未婚者では19万円の増加(2020年 47万円→2025年 66万円)、既婚者では22万円の増加(2020年 70万円→2025年 92万円)となりました。

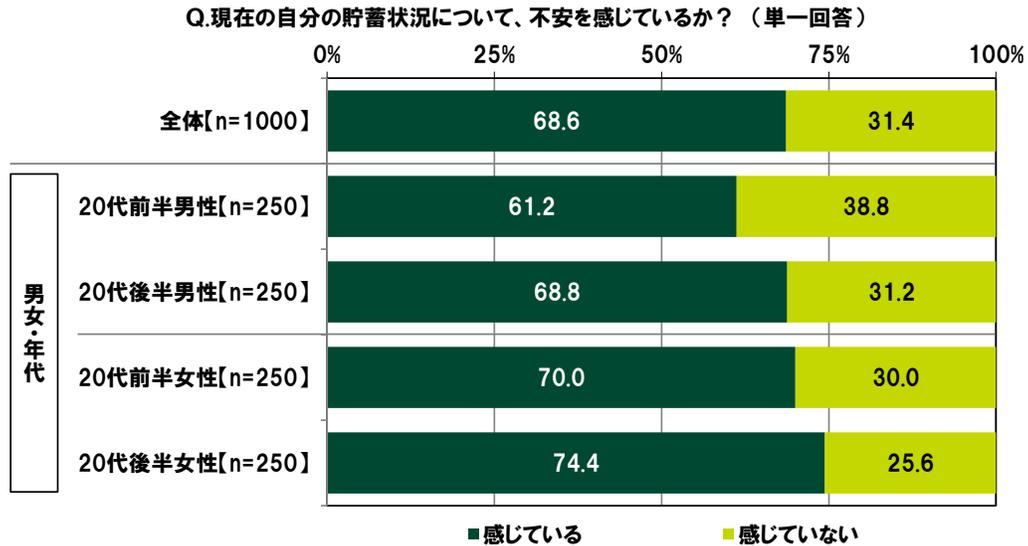
職業別にみると、会社員では29万円の増加(2020年 93万円→2025年 122万円)、パート・アルバイトでは20万円の増加(2020年 25万円→2025年 45万円)、学生では3万円の増加(2020年 21万円→2025年 24万円)となりました。



≫ 「現在の貯蓄状況に不安を感じている」20代の3人に2人

現在の自分の貯蓄状況について、不安を感じているか聞いたところ、「感じている」は68.6%、「感じていない」は31.4%と、20代の3人に2人が自身の貯蓄状況に対し不安感を抱いていることがわかりました。

男女・年代別にみると、不安を感じている人の割合は、20代後半女性(74.4%)が最も高くなりました。



- ≫ 「老後の生活資金は年金だけでは不十分だと思う」86.4%
- ≫ 「老後が不安」69.2%、女性では 74.6%

全回答者(1,000名)に、老後資金や老後の生活に対する考えについて聞きました。

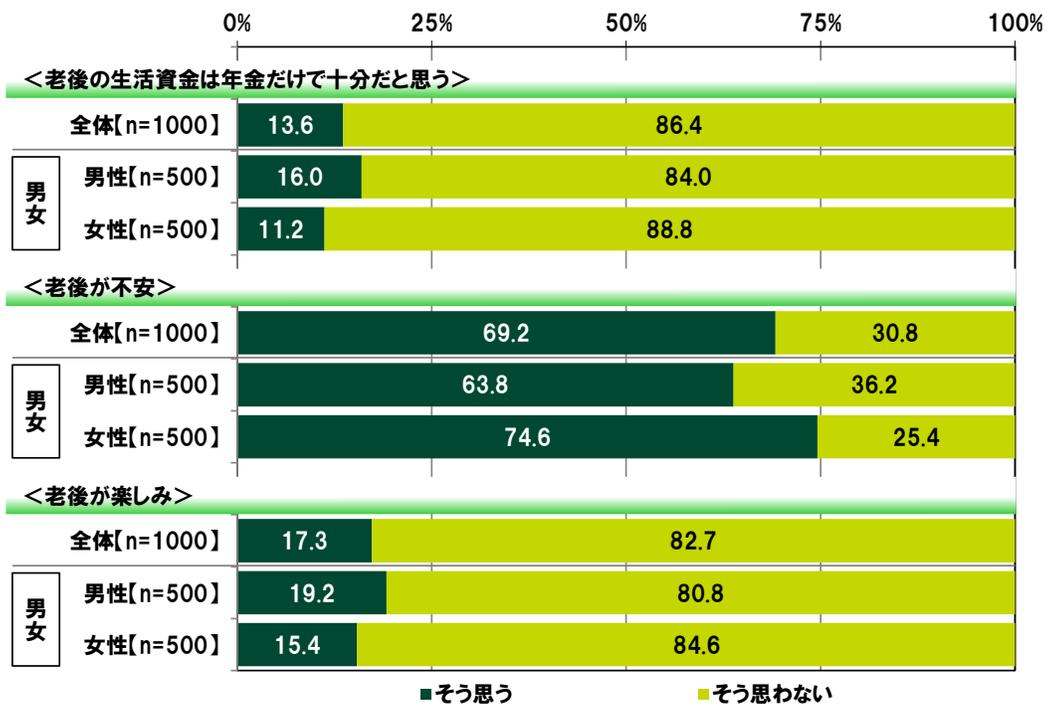
老後資金についてみると、<老後の生活資金は年金だけで十分だと思う>では「そう思う」が 13.6%、「そう思わない」が 86.4%となりました。

老後の生活についてみると、<老後が不安>では「そう思う」が 69.2%、<老後が楽しみ>では「そう思う」が 17.3%となりました。

男女別にみると、老後が不安と感じている人の割合は、女性では 74.6%と、男性(63.8%)と比べて 10.8ポイント高くなりました。

経済の先行きに対する不透明感や老後資金に対する不安の高まりなどにより、自身の老後に明るい見通しを持っていないと感じる人が多いのではないのでしょうか。

Q.老後資金や老後の生活について、そう思うか、思わないか？（各単一回答）



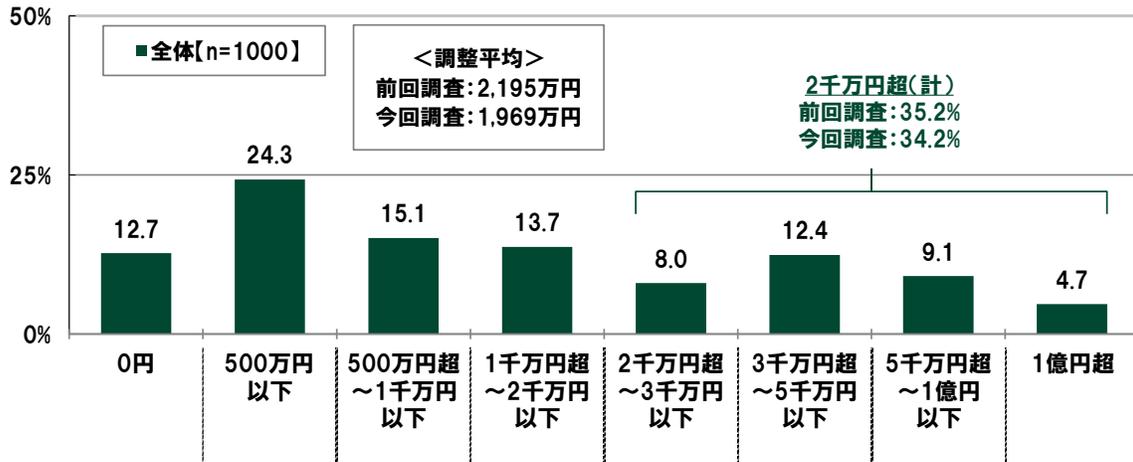
》 仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できるか 平均は 1,969 万円、前回調査から 226 万円減少

リタイア時にあれば安心できる貯蓄額のイメージについて質問しました。

全回答者(1,000名)に、仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できるか聞いたところ、「500万円以下」(24.3%)や「500万円超～1千万円以下」(15.1%)、「1千万円超～2千万円以下」(13.7%)に回答が集まり、調整平均は 1,969 万円でした。

前回の調査結果と比較すると、リタイア時にあれば安心できる貯蓄額の調整平均は 226 万円の減少(前回調査 2,195 万円→今回調査 1,969 万円)となりました。

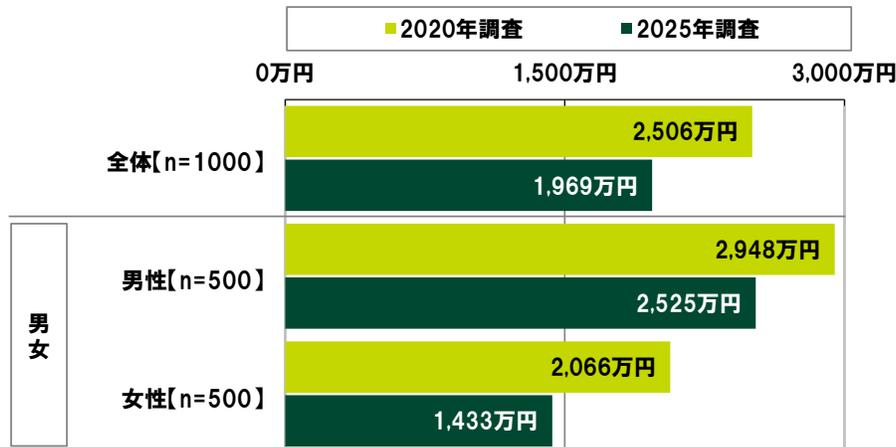
Q.仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できるか？
 (数値入力回答: ___万円くらい)



ここで、5年前の調査結果と比較すると、リタイア時にあれば安心できる貯蓄額の調整平均は、2020年 2,506 万円→2025年 1,969 万円と、537 万円の減少となりました。

男女別にみると、男性では 423 万円の減少(2020年 2,948 万円→2025年 2,525 万円)、女性では 633 万円の減少(2020年 2,066 万円→2025年 1,433 万円)となりました。

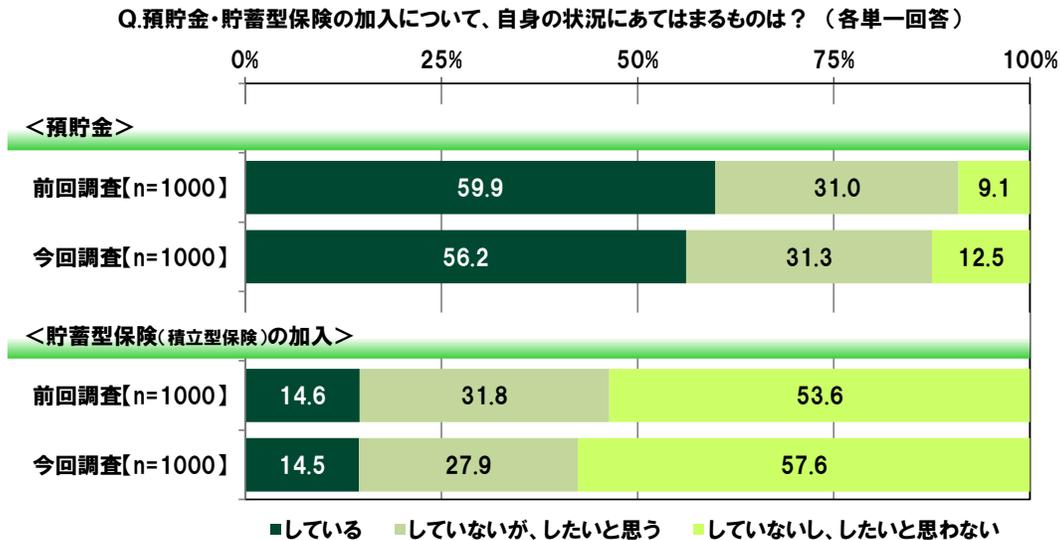
リタイア時にあれば安心できる貯蓄の調整平均額の変化



- ≫ 「預貯金をしている」56.2%、預貯金している金額は平均 33,444 円/月
- ≫ 「貯蓄型保険に加入している」14.5%、貯蓄型保険に払っている金額は平均 10,894 円/月

全回答者(1,000名)に、預貯金の状況、貯蓄型保険の加入状況を聞いたところ、<預貯金>では、「している」が56.2%、「していないが、したいと思う」が31.3%、<貯蓄型保険(積立型保険)の加入>では「している」が14.5%、「していないが、したいと思う」が27.9%となりました。

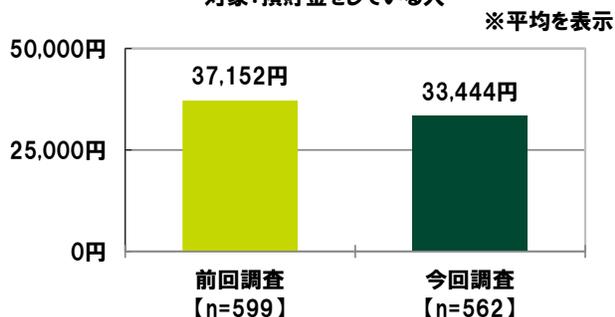
前回の調査結果と比較すると、預貯金をしている人の割合は3.7ポイントの下降(前回調査59.9%→今回調査56.2%)となりました。



預貯金をしている人(562名)に、ひと月あたり、いくらぐらい預貯金しているか聞いたところ、平均は33,444円でした。また、貯蓄型保険に加入している人(145名)に、ひと月あたり、いくらぐらい貯蓄型保険にお金を払っているか聞いたところ、平均は10,894円でした。

前回の調査結果と比較すると、預貯金している金額の平均は3,708円の減少(前回調査37,152円→今回調査33,444円)、貯蓄型保険に払っている金額の平均は2,920円の減少(前回調査13,814円→今回調査10,894円)と、どちらも減少する結果となりました。

Q.ひと月あたり、いくらぐらい預貯金しているか？
(数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
対象:預貯金をしている人



Q.ひと月あたり、いくらぐらい貯蓄型保険にお金を払っているか？
(数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
対象:貯蓄型保険に加入している人



【20代の消費意識と消費実態】

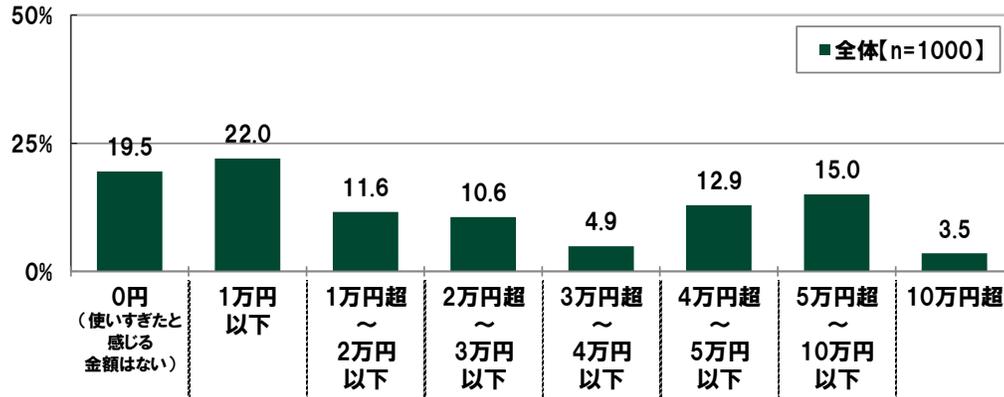
≫ お小遣いを使いすぎたと感じる金額 平均 34,818 円/月、前回調査から 4,847 円減少

全回答者(1,000名)に、自分が自由に使えるお金(お小遣い)を、1ヶ月間でいくらか使ったときにお金を使いすぎたと感じるか聞いたところ、「0円(使いすぎたと感じる金額はない)」(19.5%)や「1万円以下」(22.0%)、「5万円超～10万円以下」(15.0%)などに回答が分かれ、平均は34,818円でした。

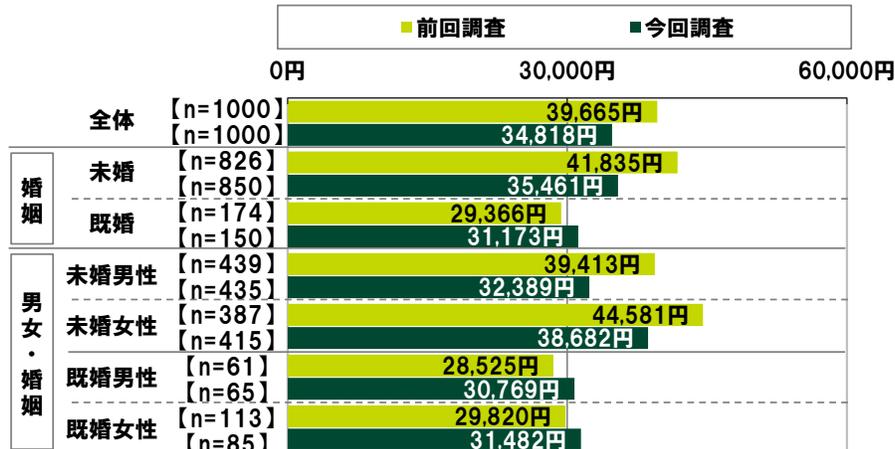
前回の調査結果と比較すると、使いすぎたと感じる金額の平均は4,847円の減少(前回調査39,665円→今回調査34,818円)となりました。

婚姻状況別にみると、未婚男性では7,024円の減少(前回調査39,413円→今回調査32,389円)、未婚女性では5,899円の減少(前回調査44,581円→今回調査38,682円)となったのに対し、既婚男性では2,244円の増加(前回調査28,525円→今回調査30,769円)、既婚女性では1,662円の増加(前回調査29,820円→今回調査31,482円)と、未婚者と既婚者で対照的な結果となりました。

Q.自分が自由に使えるお金を、1ヶ月間でいくらか使ったときにお金を使いすぎたと感じるか？
(数値入力回答:1ヶ月間で___円くらい)



自分が自由に使えるお金を1ヶ月間に使ったときにお金を使いすぎたと感じる金額の平均の変化



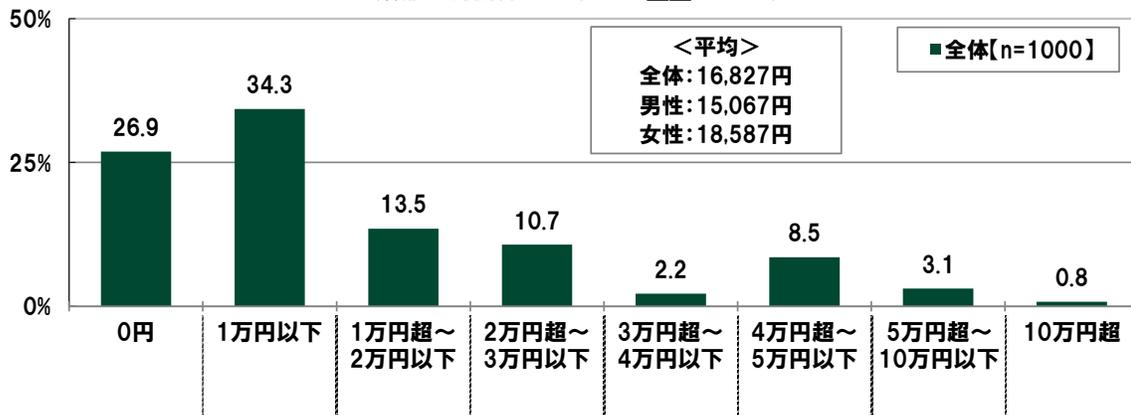
≫ 趣味や遊びなど生活費以外に使っている金額 平均 16,827 円/月、前回調査から 2,200 円減少

全回答者(1,000名)に、生活費以外(趣味や遊びなど)に、ひと月あたり、いくらくらいお金を使っているか聞いたところ、「1万円以下」(34.3%)に最も多くの回答が集まったほか、「1万円超～2万円以下」(13.5%)や「2万円超～3万円以下」(10.7%)にも回答がみられ、平均は16,827円でした。また、「0円」は26.9%となりました。

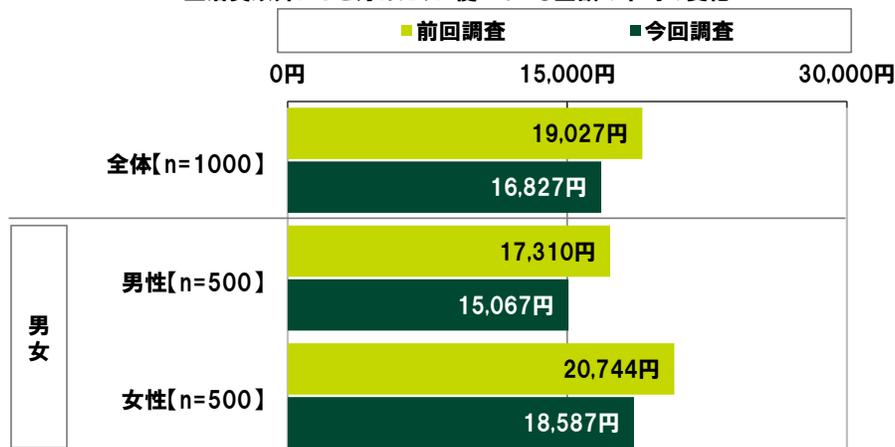
男女別にみると、生活費以外に使っている金額の平均は、女性では18,587円と、男性(15,067円)と比べて3,520円高くなりました。

前回の調査結果と比較すると、生活費以外に使っている金額の平均は、全体では2,200円の減少(前回調査19,027円→今回調査16,827円)、男性では2,243円の減少(前回調査17,310円→今回調査15,067円)、女性では2,157円の減少(前回調査20,744円→今回調査18,587円)となりました。相次ぐ物価高の影響で、生活必需品にかかる金額が増え、趣味や遊びなどにお金を回す余裕がなくなっている人が増加しているのではないのでしょうか。

Q.生活費以外(趣味や遊びなど)に、ひと月あたり、いくらくらいお金を使っているか？
 (数値入力回答:ひと月あたり__円くらい)



生活費以外にひと月あたりに使っている金額の平均の変化



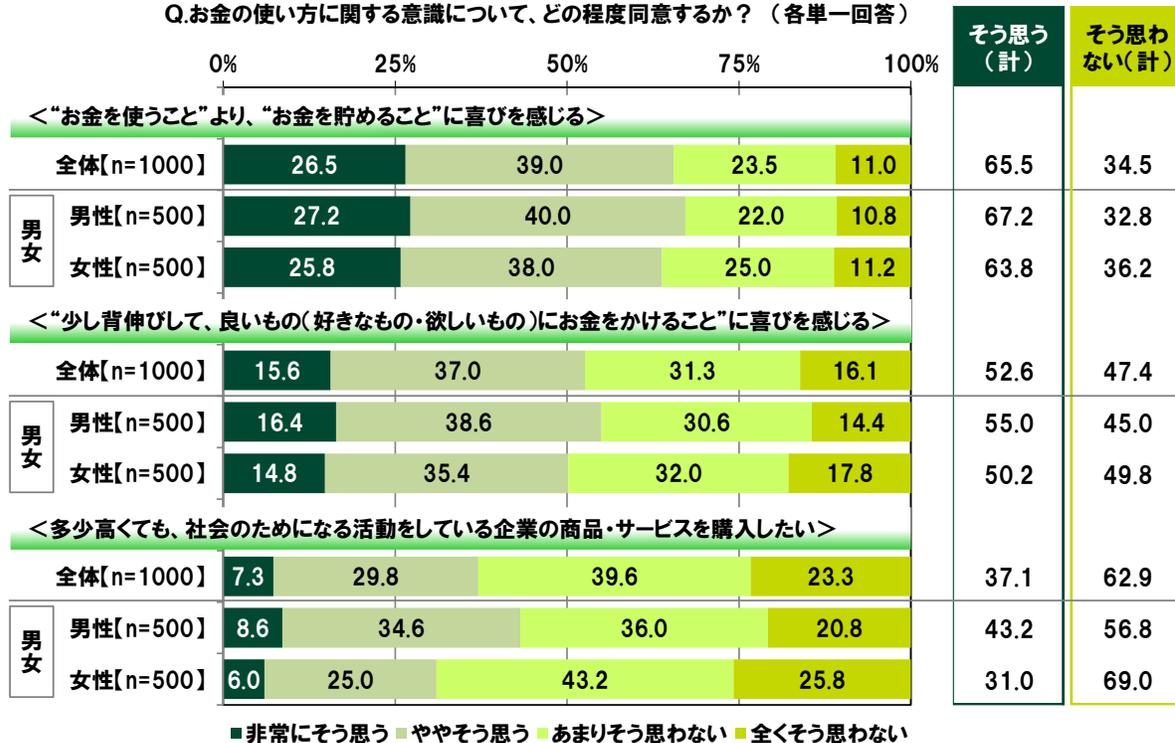
- ≫ 「“お金を使うこと”より、“お金を貯めること”に喜びを感じる」65.5%
- ≫ 「“少し背伸びして、良いもの(好きなもの・欲しいもの)にお金をかけること”に喜びを感じる」52.6%
- ≫ 「多少高くても、社会のためになる活動をしている企業の商品・サービスを購入したい」37.1%

お金の使い方について、どのような考えを持っているか質問しました。

全回答者(1,000名)に、お金の使い方に関する意識について、どの程度同意するか聞いたところ、<“お金を使うこと”より、“お金を貯めること”に喜びを感じる>では「非常にそう思う」が26.5%、「ややそう思う」が39.0%で合計した『そう思う(計)』は65.5%となりました。また、<“少し背伸びして、良いもの(好きなもの・欲しいもの)にお金をかけること”に喜びを感じる>では『そう思う(計)』は52.6%、<多少高くても、社会のためになる活動をしている企業の商品・サービスを購入したい>では『そう思う(計)』は37.1%となりました。

男女別にみると、男性では<多少高くても、社会のためになる活動をしている企業の商品・サービスを購入したい>で『そう思う(計)』と回答した人の割合は43.2%と、女性(31.0%)と比べて12.2ポイント高くなりました。

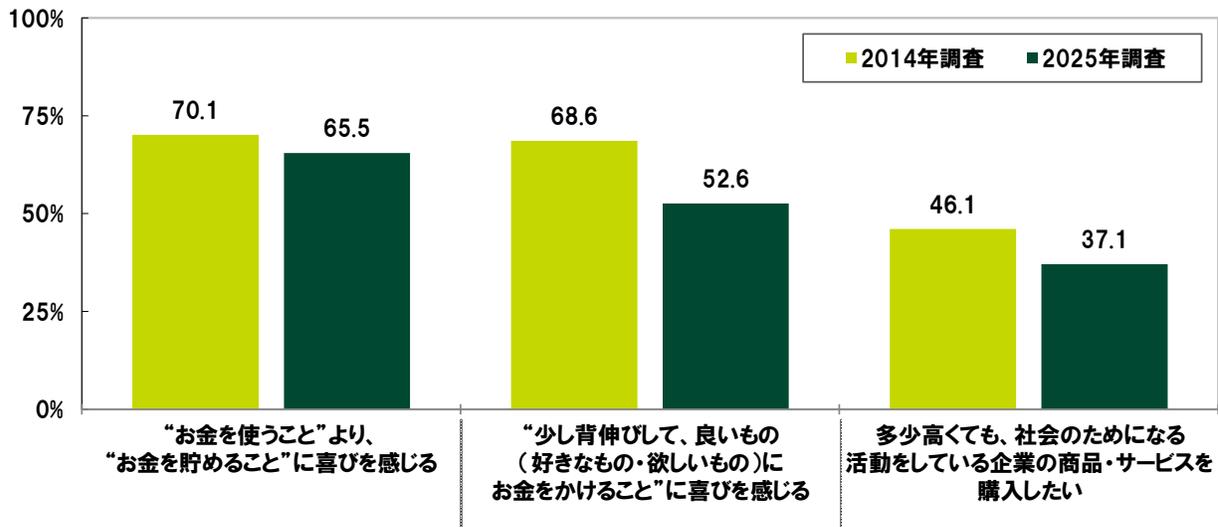
Q.お金の使い方に関する意識について、どの程度同意するか？(各単一回答)



ここで、約 10 年前に実施した第 1 回の調査結果(※4)と比較すると、<“お金を使うこと”より、“お金を貯めること”に喜びを感じる>で『そう思う(計)』と回答した人の割合は 2014 年 70.1%→2025 年 65.5%(4.6 ポイント下降)、<“少し背伸びして、良いもの(好きなもの・欲しいもの)にお金をかけること”に喜びを感じる>で『そう思う(計)』と回答した人の割合は 2014 年 68.6%→2025 年 52.6%(16.0 ポイント下降)、<多少高くても、社会のためになる活動をしている企業の商品・サービスを購入したい>で『そう思う(計)』と回答した人の割合は 2014 年 46.1%→2025 年 37.1%(9.0 ポイント下降)と、いずれも下降する結果となりました。

※4: SMBCコンシューマーファイナンス「20 代の金銭感覚についての意識調査」(2014 年 12 月 10 日発表)より

お金の使い方に関する意識について、同意する人の割合の変化



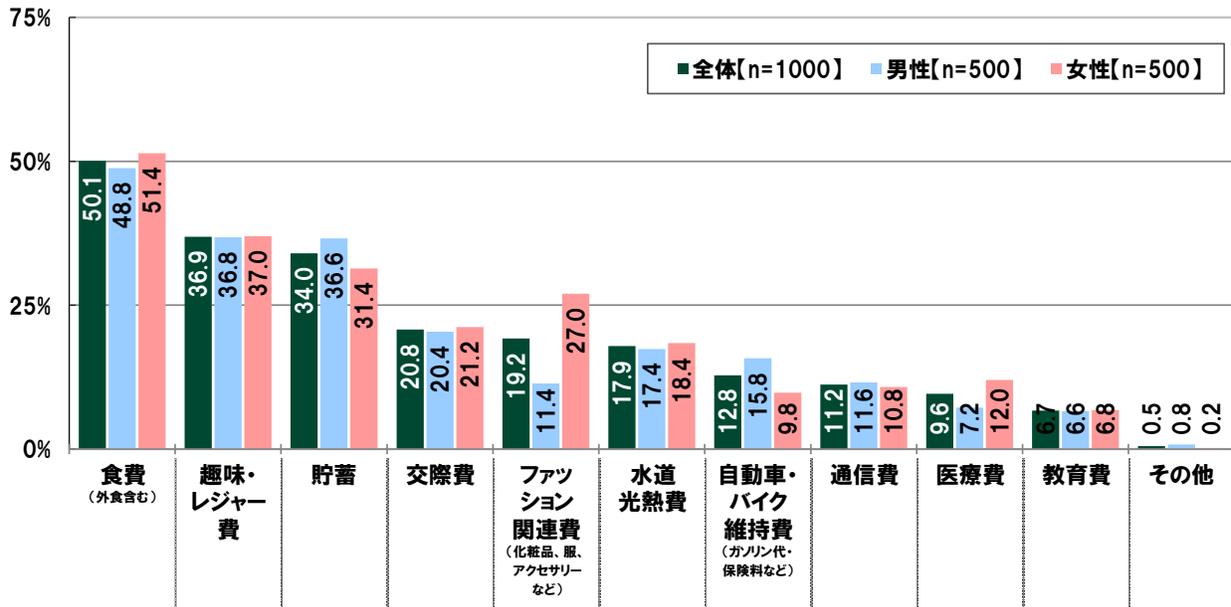
≫ 物価上昇が続くなか、優先的に家計を振り分けたい費目 1位「食費」2位「趣味・レジャー費」3位「貯蓄」

家計の振り分けの優先順位について質問しました。

全回答者(1,000名)に、優先的に家計を振り分けたい費目を聞いたところ、「食費(外食含む)」(50.1%)が最も高くなりました。次いで、「趣味・レジャー費」(36.9%)、「貯蓄」(34.0%)と、貯蓄よりも趣味やレジャーなど娯楽へ振り分けを優先させたい人のほうが多い結果となりました。

男女別にみると、女性では「ファッション関連費(化粧品、服、アクセサリなど)」が27.0%と、男性(11.4%)と比べて15.6ポイント高くなりました。

Q.優先的に家計を振り分けたい費目は？(複数回答:3つまで)



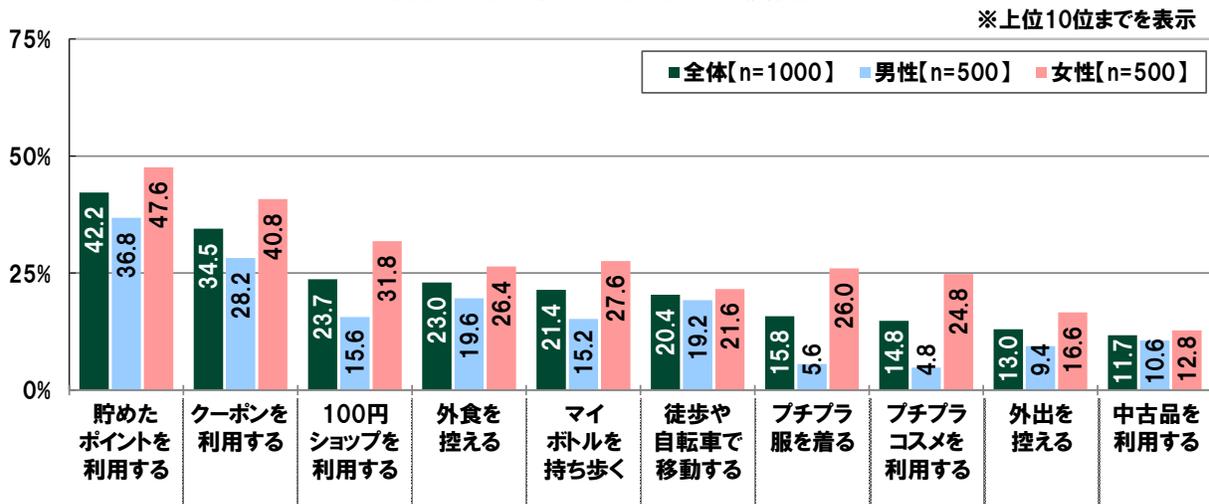
≫ 節約のためにやっていること 1位「貯めたポイントを利用」2位「クーポンを利用」3位「100円ショップを利用」

どのような節約に取り組んで支出を抑えている人が多いのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、節約のためにやっていることを聞いたところ、「貯めたポイントを利用する」(42.2%)が最も高くなり、「クーポンを利用する」(34.5%)、「100円ショップを利用する」(23.7%)、「外食を控える」(23.0%)、「マイボトルを持ち歩く」(21.4%)が続きました。

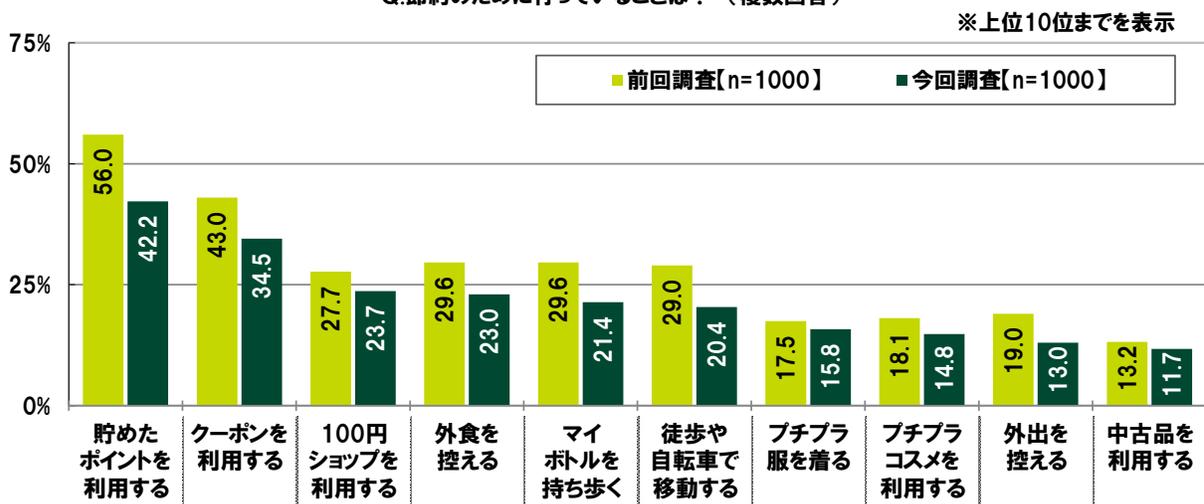
男女別にみると、女性では「プチプラ服を着る」が26.0%、「プチプラコスメを利用する」が24.8%と、男性(順に5.6%、4.8%)と比べて20ポイント以上高くなりました。女性には、プチプラアイテムを活用して節約に取り組んでいる人が多いようです。

Q.節約のためにやっていることは？(複数回答)



前回の調査結果と比較すると、引き続き1位は「貯めたポイントを利用する」、2位は「クーポンを利用する」となり、「100円ショップを利用する」が前回調査6位→今回調査3位と順位を上げTOP3にランクインしました。

Q.節約のためにやっていることは？(複数回答)



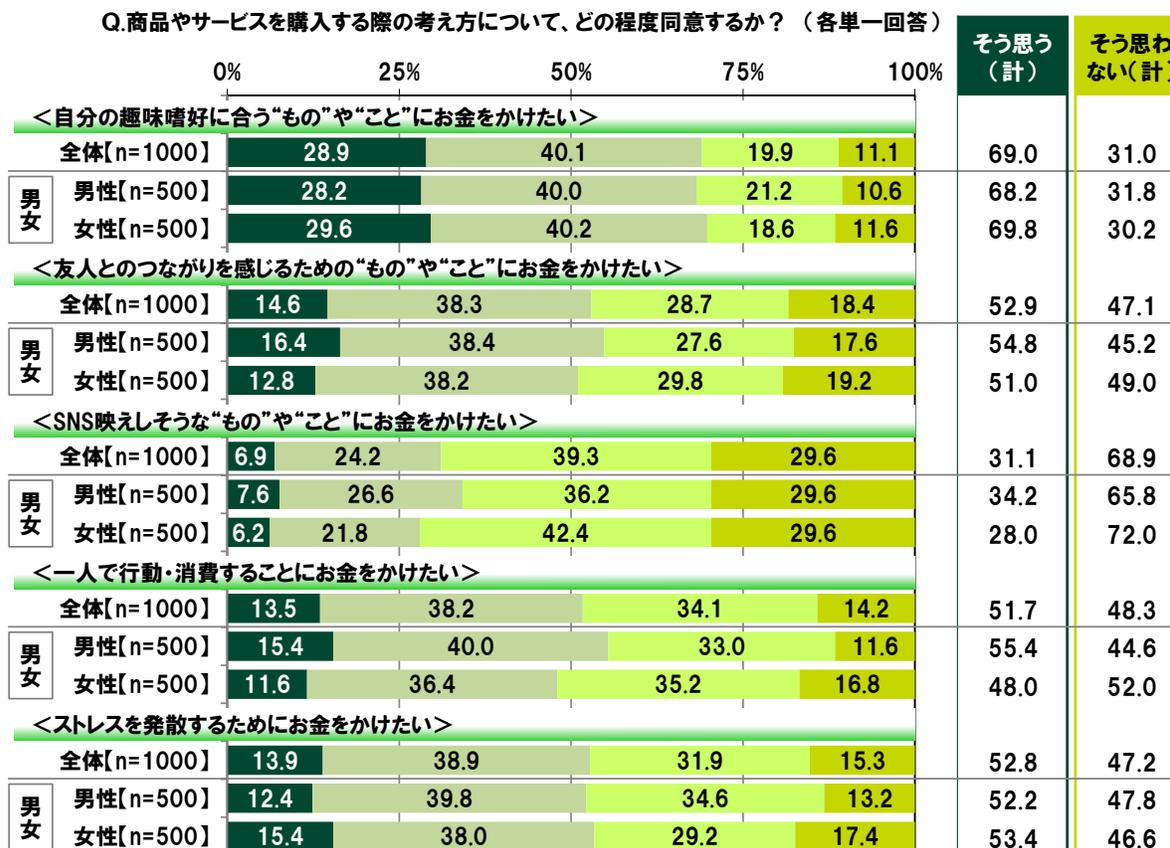
- ≫ 20代の消費の矛先は？「自分の趣味嗜好に合う“もの”や“こと”にお金をかけたい」69.0%、
 「友人とのつながりを感じるための“もの”や“こと”にお金をかけたい」52.9%、
 「SNS映えしそうな“もの”や“こと”にお金をかけたい」31.1%、
 「一人で行動・消費することにお金をかけたい」51.7%、「ストレスを発散するためにお金をかけたい」52.8%

続いて、消費の矛先について質問しました。

全回答者(1,000名)に、商品やサービスを購入する際の考え方について、どの程度同意するか聞いたところ、<自分の趣味嗜好に合う“もの”や“こと”にお金をかけたい>では『そう思う(計)』は69.0%、<友人とのつながりを感じるための“もの”や“こと”にお金をかけたい>では『そう思う(計)』は52.9%と、いずれも半数を超えました。自分の好みに合うものや、友人とのつながりを持つためのものに対しては財布の紐が緩むという人が多いのではないのでしょうか。他方、<SNS映えしそうな“もの”や“こと”にお金をかけたい>では『そう思う(計)』は31.1%と半数を大きく下回りました。

また、<一人で行動・消費することにお金をかけたい>では『そう思う(計)』は51.7%、<ストレスを発散するためにお金をかけたい>では『そう思う(計)』は52.8%と、いずれも半数を超えました。

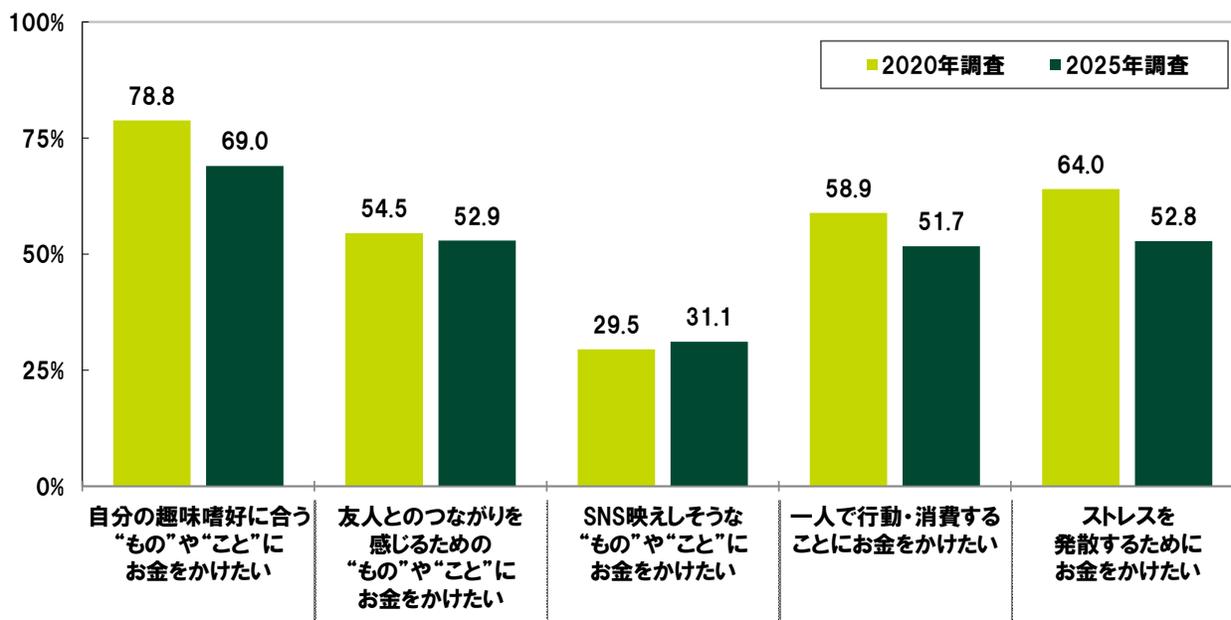
男女別にみると、男性では<一人で行動・消費することにお金をかけたい>で『そう思う(計)』と回答した人の割合は55.4%と、女性(48.0%)と比べて7.4ポイント高くなりました。



■非常にそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■全くそう思わない

ここで、5年前の調査結果と比較すると、＜自分の趣味嗜好に合う“もの”や“こと”にお金をかけたい＞で『そう思う(計)』と回答した人の割合は2020年78.8%→2025年69.0%(9.8ポイント下降)、＜友人とのつながりを感じるための“もの”や“こと”にお金をかけたい＞で『そう思う(計)』と回答した人の割合は2020年54.5%→2025年52.9%(1.6ポイント下降)、＜SNS映えしそうな“もの”や“こと”にお金をかけたい＞で『そう思う(計)』と回答した人の割合は2020年29.5%→2025年31.1%(1.6ポイント上昇)、＜一人で行動・消費することにお金をかけたい＞で『そう思う(計)』と回答した人の割合は2020年58.9%→2025年51.7%(7.2ポイント下降)、＜ストレスを発散するためにお金をかけたい＞で『そう思う(計)』と回答した人の割合は2020年64.0%→2025年52.8%(11.2ポイント下降)と、多くの項目で下降する結果となりました。

商品やサービスを購入する際の考え方について、同意する人の割合の変化



≫ ゲーム課金に対する意識

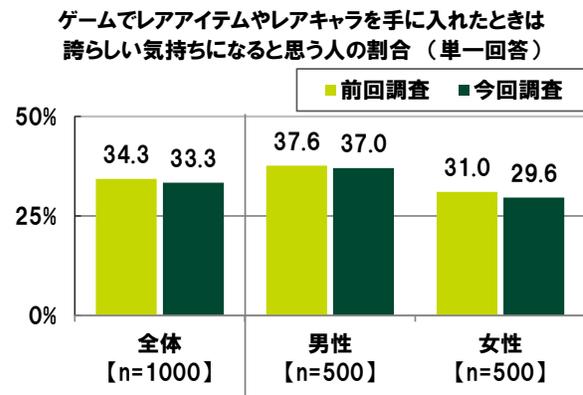
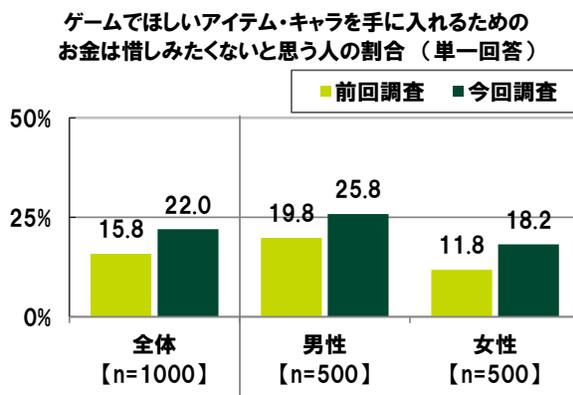
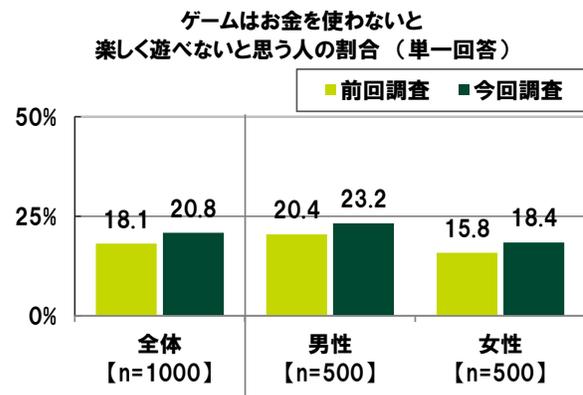
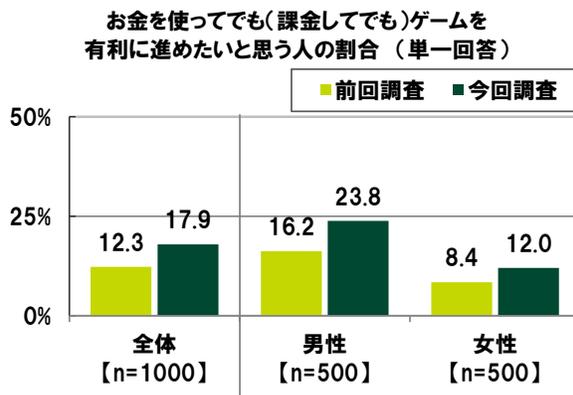
「お金を使ってでもゲームを有利に進めたい」17.9%、「お金を使わないと楽しく遊べない」20.8%、
 「アイテム・キャラ入手のためのお金は惜しみたくない」22.0%、
 「ゲームでレアアイテム・キャラを入手すると誇らしい気持ちになる」33.3%

全回答者(1,000名)に、ゲーム消費について質問しました。

まず、お金を使ってゲームをすることについて聞いたところ、<お金を使ってでも(課金してでも)ゲームを有利に進めたい>では「そう思う」は17.9%、<お金を使わないと楽しく遊べない>では「そう思う」は20.8%となりました。

アイテムやキャラクターの入手について聞いたところ、<ほしいアイテム・キャラを手に入れるためのお金は惜しみたくない>では「そう思う」は22.0%、<レアアイテムやレアキャラを手に入れたときは誇らしい気持ちになる>では「そう思う」は33.3%となりました。

前回の調査結果と比較すると、<お金を使ってでも(課金してでも)ゲームを有利に進めたい>で「そう思う」と回答した人の割合は、男性では7.6ポイントの上昇(前回調査16.2%→今回調査23.8%)となりました。



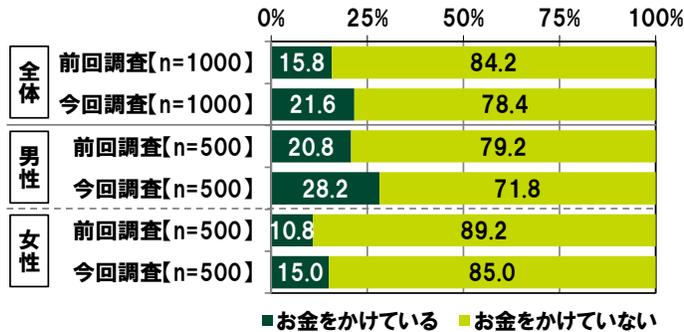
- ≫ 「ゲーム課金をしている」21.6%、かけている金額は平均 4,247 円/月
- ≫ 「ゲーム課金で生活に困ったことがある」18.8%、「ゲーム課金に後悔したことがある」23.9%

次に、ゲーム課金(ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用)の実態について質問しました。

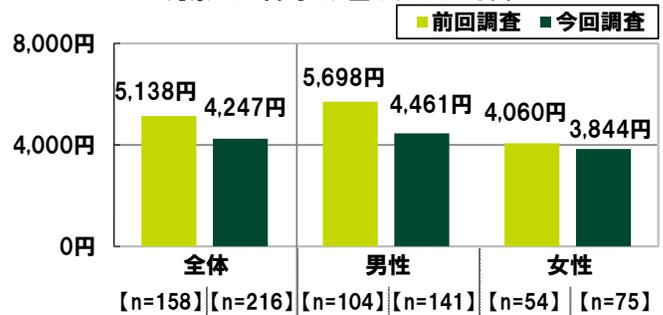
＜ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)＞にお金をかけている人の割合は 21.6%で、それらの人がひと月あたりにかけている金額の平均は 4,247 円でした。

前回の調査結果と比較すると、お金をかけている人の割合は、全体では 5.8 ポイント上昇(前回調査 15.8%→今回調査 21.6%)、男性では 7.4 ポイント上昇(前回調査 20.8%→今回調査 28.2%)、女性では 4.2 ポイント上昇(前回調査 10.8%→今回調査 15.0%)と上昇傾向がみられた一方、かけている金額の平均は、全体では 891 円減少(前回調査 5,138 円→今回調査 4,247 円)、男性では 1,237 円減少(前回調査 5,698 円→今回調査 4,461 円)、女性では 216 円減少(前回調査 4,060 円→今回調査 3,844 円)と減少傾向がみられました。

Q.ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)にお金をかけているか?



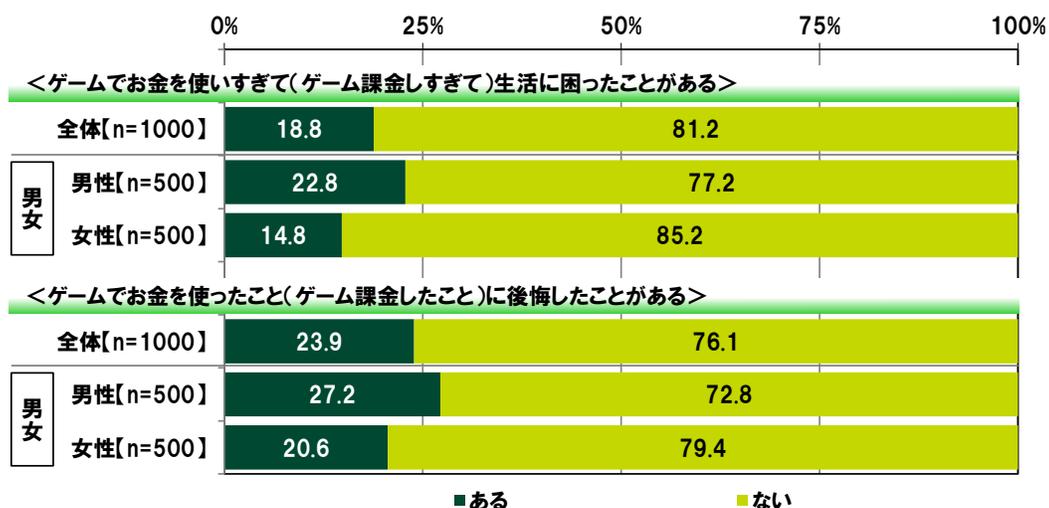
ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)にかけている金額の平均 (数値入力回答:ひと月あたり____円くらい)
対象:この目的にお金をかけている人



また、ゲーム課金での経験を聞いたところ、＜ゲームでお金を使いすぎて(ゲーム課金しすぎて)生活に困ったことがある＞では「ある」は 18.8%、＜ゲームでお金を使ったこと(ゲーム課金したこと)に後悔したことがある＞では「ある」は 23.9%と、ゲームへの課金がかきかけで辛い経験をした人は少なくないようです。

男女別にみると、＜ゲームでお金を使いすぎて(ゲーム課金しすぎて)生活に困ったことがある＞で「ある」と回答した人の割合は男性では 22.8%、＜ゲームでお金を使ったこと(ゲーム課金したこと)に後悔したことがある＞で「ある」と回答した人の割合は男性では 27.2%と、女性(順に 14.8%、20.6%)と比べて 5 ポイント以上高くなりました。

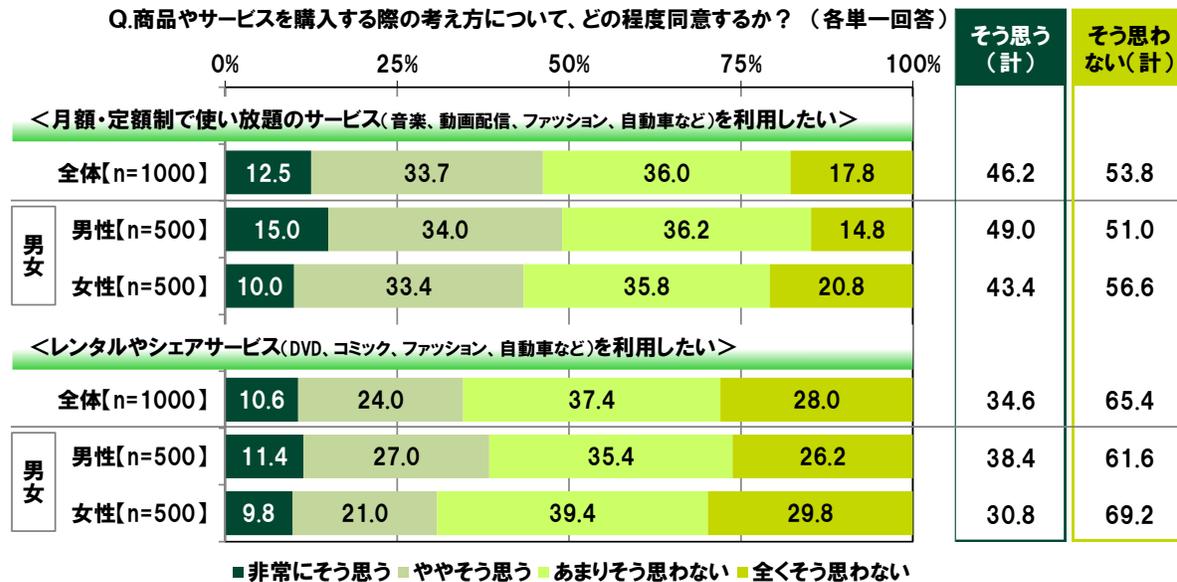
Q.ゲーム課金に関する以下の経験があるか、ないか? (各単一回答)



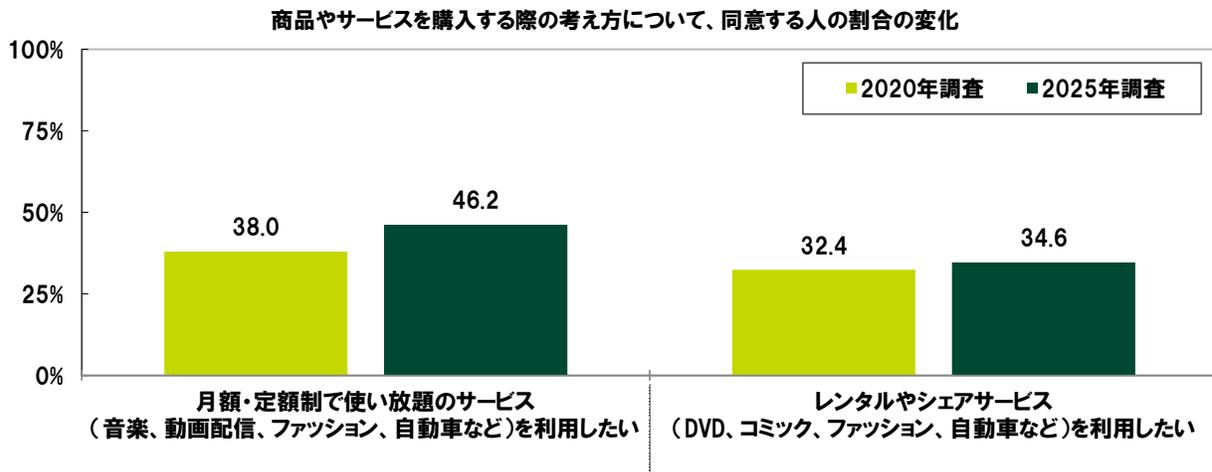
≫ 「サブスクサービスを利用したい」46.2%、「レンタルやシェアサービスを利用したい」34.6%

モノを持たない消費について質問しました。

まず、全回答者(1,000名)に、サブスクリプションサービスや、レンタル・シェアサービスの利用意向を聞いたところ、
 <月額・定額制で使い放題のサービス(音楽、動画配信、ファッション、自動車など)を利用したい>では『そう思う(計)』は46.2%、
 <レンタルやシェアサービス(DVD、コミック、ファッション、自動車など)を利用したい>では『そう思う(計)』は34.6%となりました。



ここで、5年前の調査結果と比較すると、<月額・定額制で使い放題のサービス(音楽、動画配信、ファッション、自動車など)を利用したい>で『そう思う(計)』と回答した人の割合は2020年38.0%→2025年46.2%(8.2ポイント上昇)、
 <レンタルやシェアサービス(DVD、コミック、ファッション、自動車など)を利用したい>で『そう思う(計)』と回答した人の割合は2020年32.4%→2025年34.6%(2.2ポイント上昇)と、どちらも上昇する結果となりました。

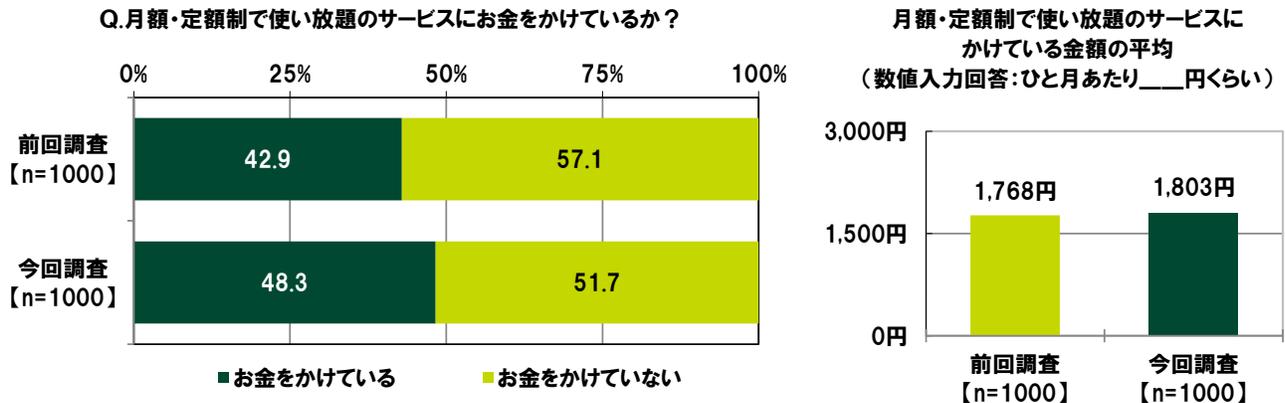


» サブスクサービスにかけている金額の全体平均は 1,803 円/月

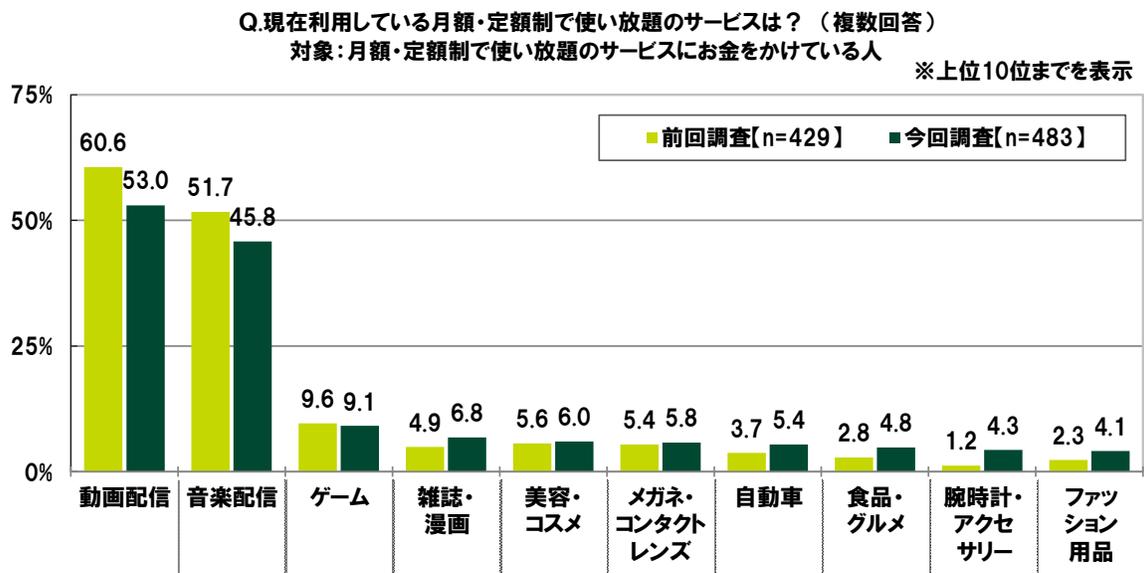
サブスクリプションサービスの利用実態について質問しました。

まず、全回答者(1,000名)に、月額・定額制で使い放題のサービスにお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は 48.3%で、ひと月あたりにかけている金額の全体平均は 1,803 円でした。

前回の調査結果と比較すると、お金をかけている人の割合は 5.4 ポイントの上昇(前回調査 42.9%→今回調査 48.3%)、かけている金額の全体平均は 35 円の増加(前回調査 1,768 円→今回調査 1,803 円)となりました。



月額・定額制で使い放題のサービスにお金をかけている人(483名)に、現在利用している月額・定額制で使い放題のサービスを聞いたところ、「動画配信」(53.0%)と「音楽配信」(45.8%)が突出して高くなりました。サブスクでエンタメを楽しんでいる人が多いようです。次いで高くなったのは、「ゲーム」(9.1%)、「雑誌・漫画」(6.8%)、「美容・コスメ」(6.0%)でした。



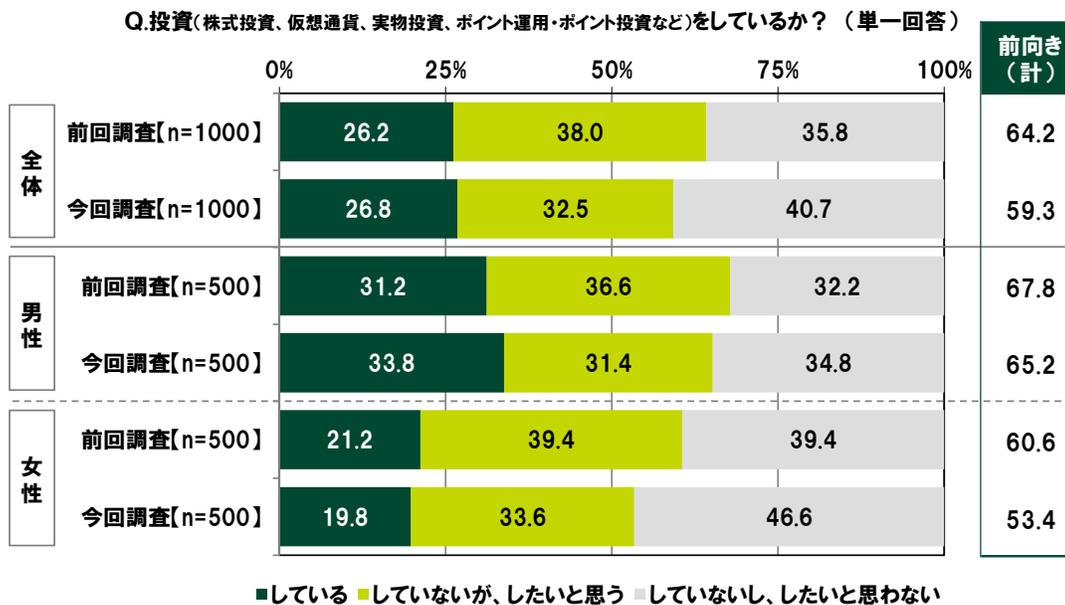
≫ 「現在、投資をしている」26.8%

ひと月あたりに投資に回している金額は平均 24,610 円、前回調査から 1,021 円増加

投資（株式投資、仮想通貨、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など）について質問しました。

全回答者（1,000 名）に、投資をしているか聞いたところ、「している」は 26.8%、「していないが、したいと思う」は 32.5%で、合計した『前向き（計）』は 59.3%となりました。

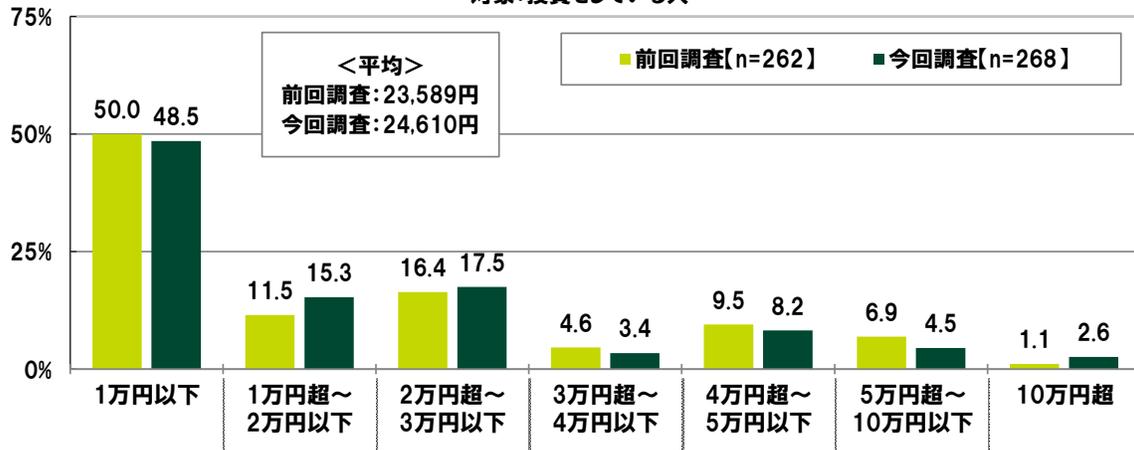
投資をしている人の割合は、男性では 33.8%と、女性（19.8%）と比べて 14.0 ポイント高くなりました。



投資をしている人(268名)に、ひと月あたり、いくらぐらい投資(貯蓄型保険除く)にお金を回しているか聞いたところ、「1万円以下」(48.5%)に最も多くの回答が集まったほか、「1万円超～2万円以下」(15.3%)や「2万円超～3万円以下」(17.5%)にも回答がみられ、平均は24,610円でした。

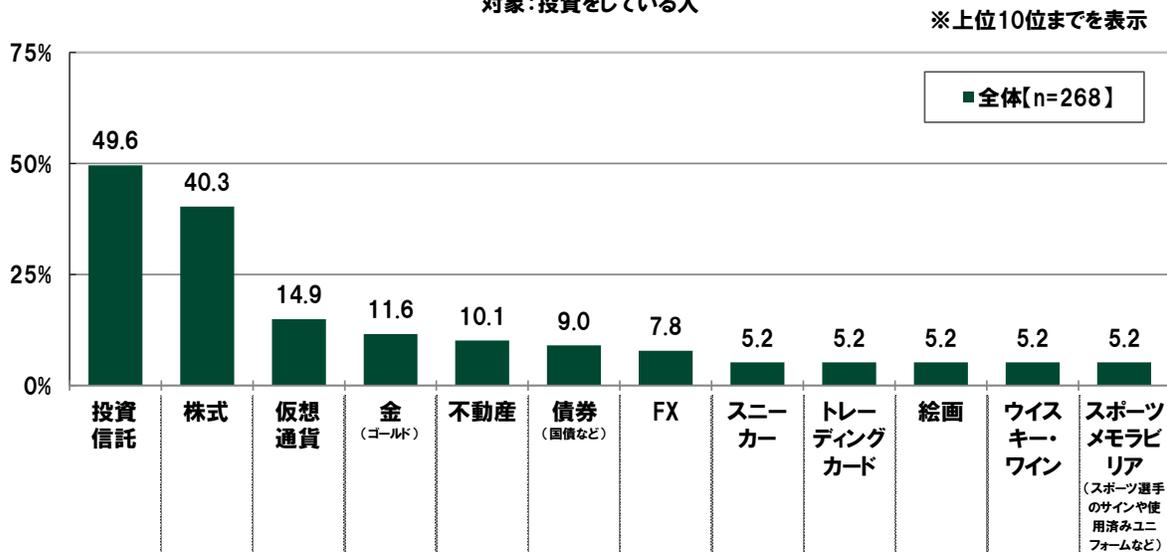
前回の調査結果と比較すると、ひと月あたりに投資に回している金額の平均は、1,021円の増加(前回調査23,589円→今回調査24,610円)となりました。

Q.ひと月あたり、いくらぐらい投資(貯蓄型保険除く)にお金を回しているか?
(数値入力回答:ひと月あたり__円くらい)
対象:投資をしている人



また、投資をしているものを聞いたところ、「投資信託」(49.6%)が最も高くなり、「株式」(40.3%)、「仮想通貨」(14.9%)、「金(ゴールド)」(11.6%)、「不動産」(10.1%)が続きました。

Q.投資をしているものは?(複数回答)
対象:投資をしている人

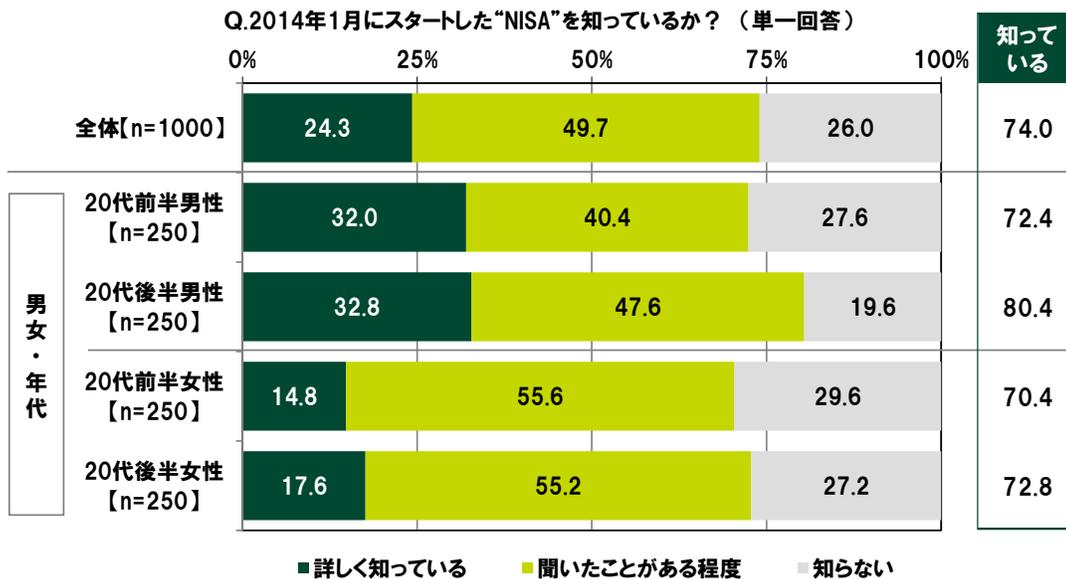


- ≫ 「2014年1月にスタートした“NISA”を知っている」74.0%
- ≫ 「2024年1月にスタートした“新しいNISA(新NISA)”を知っている」69.6%
- ≫ 「“新しいNISA(新NISA)”を既に利用している」21.0%、会社員では 32.3%

個人投資家のための税制優遇制度の一つである“NISA”について質問しました。

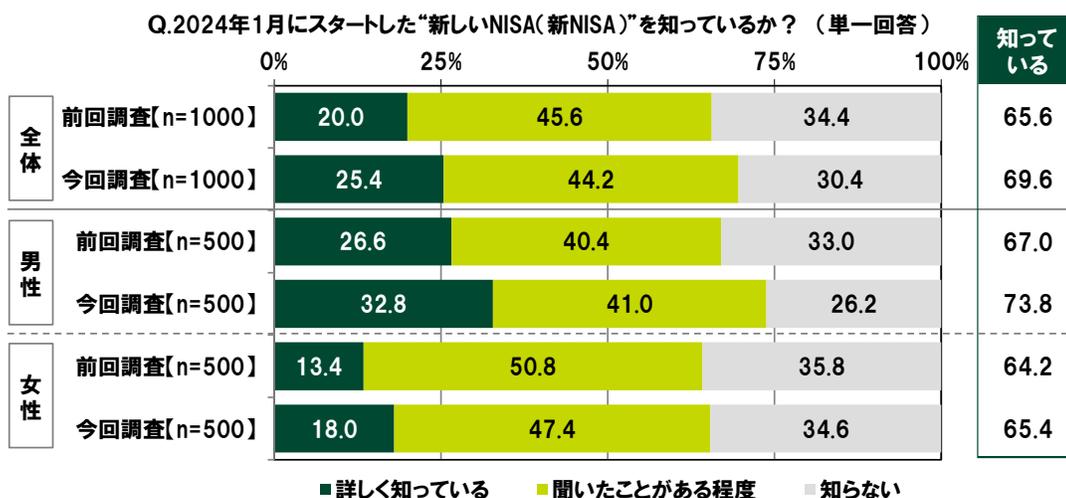
まず、全回答者(1,000名)に、2014年1月にスタートした“NISA”を知っているか聞いたところ、「詳しく知っている」が24.3%、「聞いたことがある程度」が49.7%で、合計した『知っている』は74.0%、「知らない」は26.0%となりました。

男女・年代別にみると、『知っている』と回答した人の割合は女性と比べて男性のほうが高くなる傾向がみられ、20代後半男性では80.4%でした。



また、2024年1月にスタートした“新しいNISA(新NISA)”を知っているか聞いたところ、『知っている』は69.6%、「知らない」は30.4%となりました。制度開始から11年経った“NISA”と同様に、大半の人が認知しているようです。

前回の調査結果と比較すると、『知っている』と回答した人の割合は、全体では4.0ポイント上昇(前回調査65.6%→今回調査69.6%)、男性では6.8ポイント上昇(前回調査67.0%→今回調査73.8%)、女性では1.2ポイント上昇(前回調査64.2%→今回調査65.4%)しました。



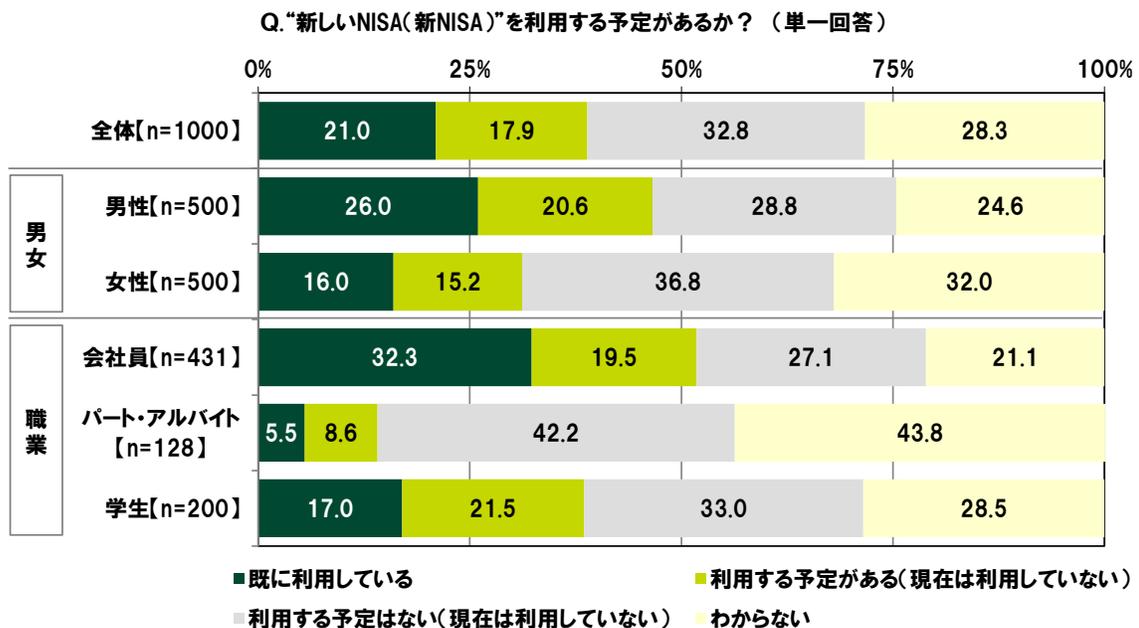
“新しいNISA(新NISA)”には、次のような特徴があります。

- ・投資の利益に税金がかからない制度で、非課税保有期間は無期限
- ・投資枠は「つみたて投資枠」と「成長投資枠」の二つ
- ・運用できる商品は、「つみたて投資枠」では一定の条件を満たした投資信託、「成長投資枠」では株式、投資信託、ETF(上場投資信託)
- ・投資枠は、年間最大で360万円
- ・生涯投資枠は1,800万円で、購入した金融商品を売却すれば投資枠は翌年以降に再利用可能

そこで、“新しいNISA(新NISA)”を利用する予定があるか聞いたところ、「既に利用している」は21.0%、「利用する予定がある(現在は利用していない)」は17.9%、「利用する予定はない(現在は利用していない)」は32.8%、「わからない」は28.3%となりました。

男女別にみると、「既に利用している」と回答した人の割合は、男性では26.0%と、女性(16.0%)と比べて10.0ポイント高くなりました。

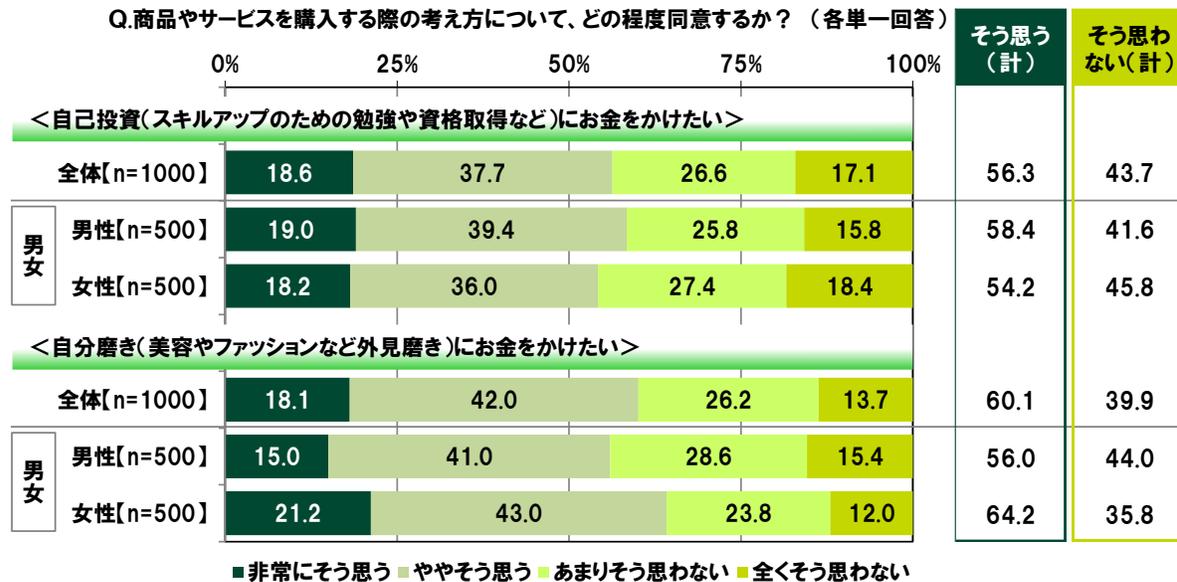
職業別にみると、「既に利用している」と回答した人の割合は、会社員では32.3%と、パート・アルバイト(5.5%)や学生(17.0%)と比べて高くなりました。



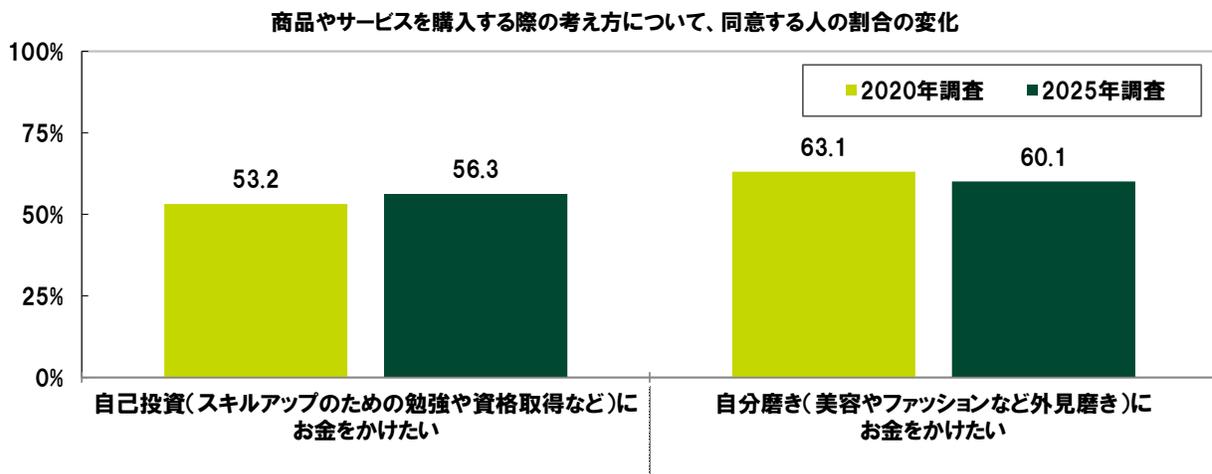
≫ 「自己投資にお金をかけたい」56.3%、「自分磨きにお金をかけたい」60.1%

自己投資(スキルアップのための勉強や資格取得など)や自分磨き(美容やファッションなど外見磨き)への支出について質問しました。

全回答者(1,000名)に、自己投資や自分磨きへの支出意向を聞いたところ、<自己投資(スキルアップのための勉強や資格取得など)にお金をかけたい>では『そう思う(計)』は56.3%、<自分磨き(美容やファッションなど外見磨き)にお金をかけたい>では『そう思う(計)』は60.1%となりました。



ここで、5年前の調査結果と比較すると、<自己投資(スキルアップのための勉強や資格取得など)にお金をかけたい>で『そう思う(計)』と回答した人の割合は2020年53.2%→2025年56.3%と3.1ポイントの上昇となったのに対し、<自分磨き(美容やファッションなど外見磨き)にお金をかけたい>で『そう思う(計)』と回答した人の割合は2020年63.1%→2025年60.1%と3.0ポイントの下降となりました。



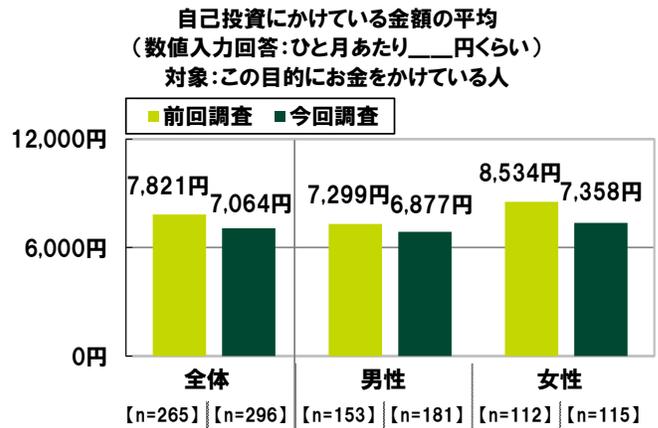
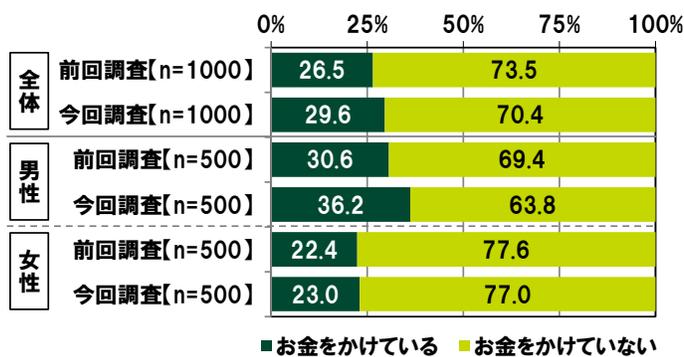
- ≫ 「自己投資にお金をかけている」29.6%、かけているお金は平均 7,064 円/月
- ≫ 「自分磨きにお金をかけている」59.4%、かけているお金は平均 8,279 円/月

全回答者(1,000名)に、自己投資や自分磨きへの支出状況について聞きました。

自己投資にお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は 29.6%で、それらの人がひと月あたりにかけている金額の平均は 7,064 円でした。

前回の調査結果と比較すると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、全体では 757 円の減少(前回調査 7,821 円→今回調査 7,064 円)、男性では 422 円の減少(前回調査 7,299 円→今回調査 6,877 円)、女性では 1,176 円の減少(前回調査 8,534 円→今回調査 7,358 円)となりました。

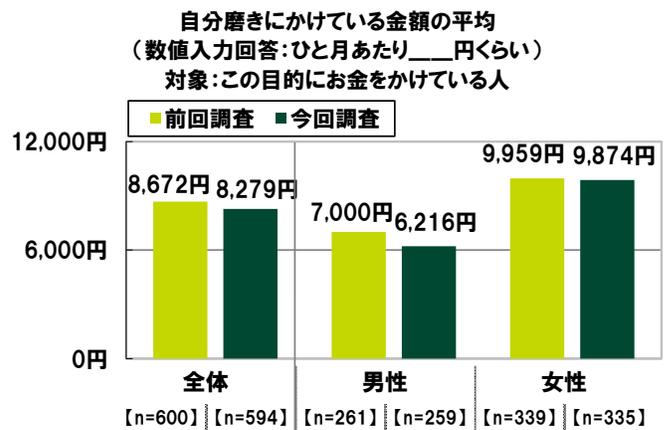
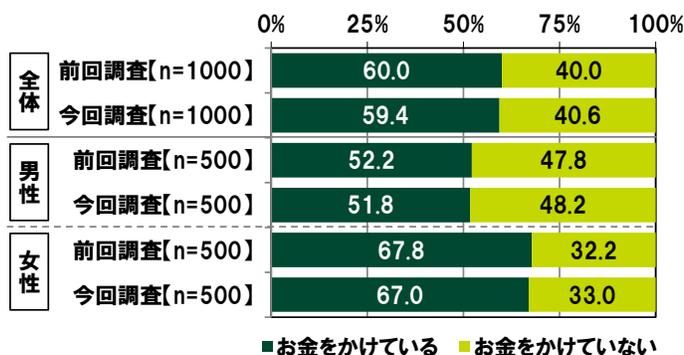
Q.自己投資のためにお金をかけているか？



また、自分磨きにお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は 59.4%で、それらの人がひと月あたりにかけている金額の平均は 8,279 円でした。

前回の調査結果と比較すると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、全体では 393 円の減少(前回調査 8,672 円→今回調査 8,279 円)、男性では 784 円の減少(前回調査 7,000 円→今回調査 6,216 円)、女性では 85 円の減少(前回調査 9,959 円→今回調査 9,874 円)となりました。

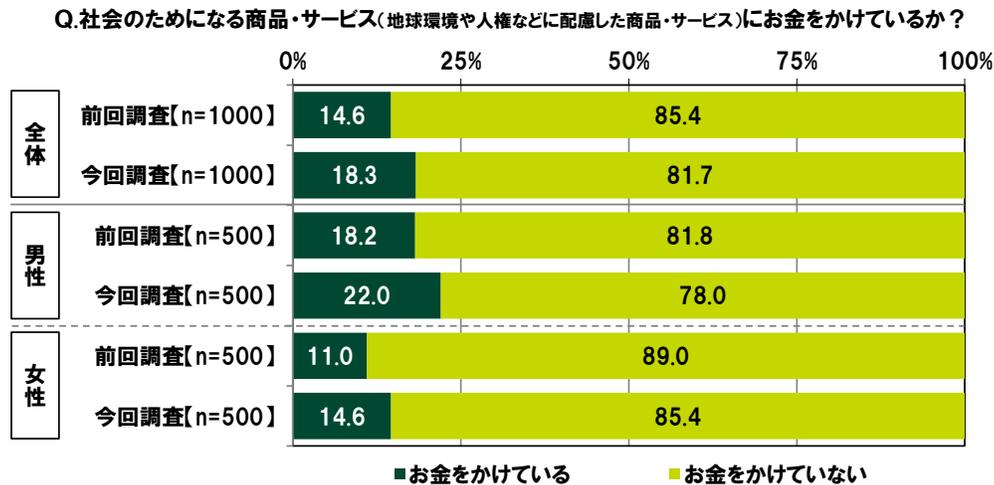
Q.自分磨きのためにお金をかけているか？



≫ 「社会のためになる商品・サービスにお金をかけている」18.3%
 かけているお金は平均 4,406 円/月、前回調査から 457 円減少

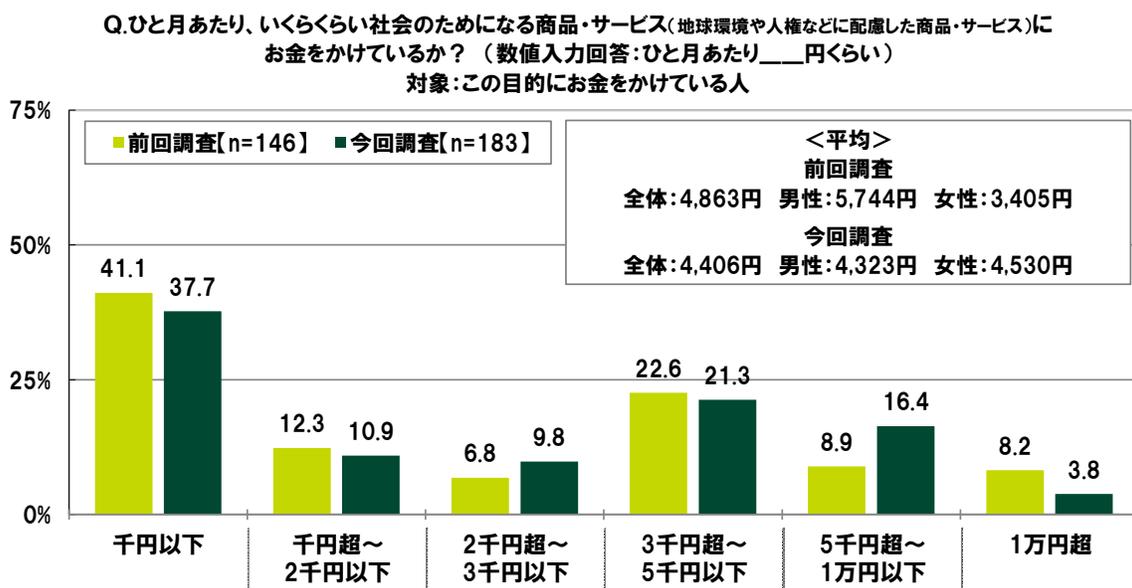
全回答者(1,000名)に、社会のためになる商品・サービス(地球環境や人権などに配慮した商品・サービス)にお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は18.3%となりました。

男女別にみると、お金をかけている人の割合は、男性では22.0%と、女性(14.6%)と比べて7.4ポイント高くなりました。



お金をかけている人(183名)に、ひと月あたり、いくらくらいお金をかけているか聞いたところ、「千円以下」(37.7%)に最も多くの回答が集まったほか、「3千円超～5千円以下」(21.3%)にも回答がみられ、平均は4,406円でした。

前回の調査結果と比較すると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、全体では457円の減少(前回調査4,863円→今回調査4,406円)、男性では1,421円の減少(前回調査5,744円→今回調査4,323円)となったのに対し、女性では1,125円の増加(前回調査3,405円→今回調査4,530円)となりました。



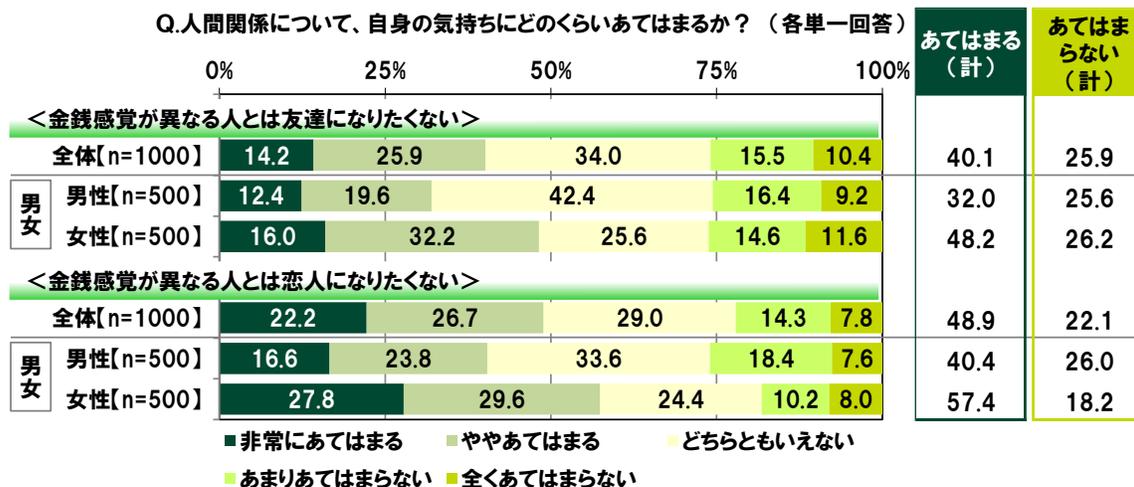
【20代のマネー意識と豊かさ実感】

- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは友達になりたくない」40.1%、「金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくない」48.9%
- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない」56.0%
 夫婦になる人と同じ金銭感覚でありたいと思うもの 1位「食事」2位「娯楽・交際」3位「趣味」
- ≫ 「幸せになるにはお金が必要」58.7%

マネー意識について質問しました。

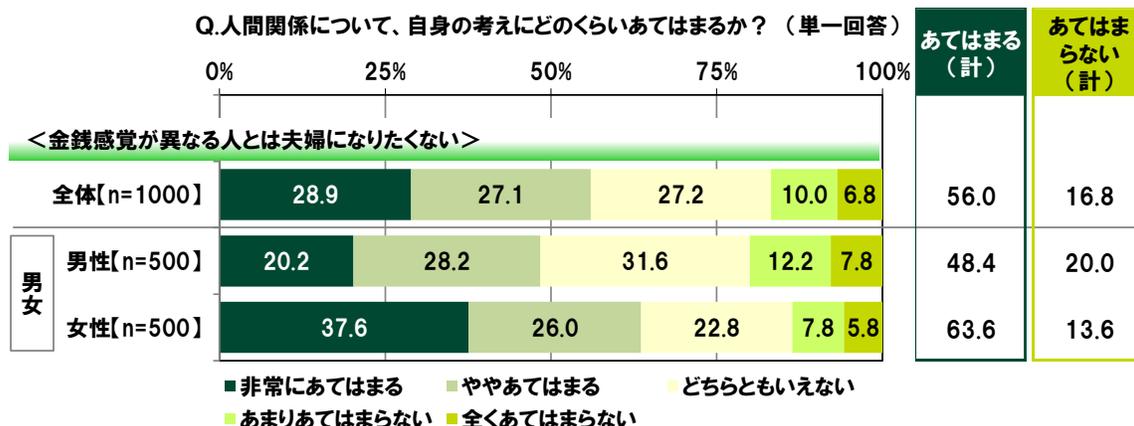
全回答者(1,000名)に、金銭感覚と人間関係についての意識を聞いたところ、<金銭感覚が異なる人とは友達になりたくない>では「非常にあてはまる」は14.2%、「ややあてはまる」は25.9%で、合計した『あてはまる(計)』は40.1%となり、<金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくない>では『あてはまる(計)』は48.9%となりました。

男女別にみると、女性では、金銭感覚が異なる人とは友達になりたくないと回答した人の割合が48.2%、金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくないと回答した人の割合が57.4%と、男性(順に32.0%、40.4%)と比べて15ポイント以上高くなりました。



また、<金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない>では『あてはまる(計)』は56.0%となりました。

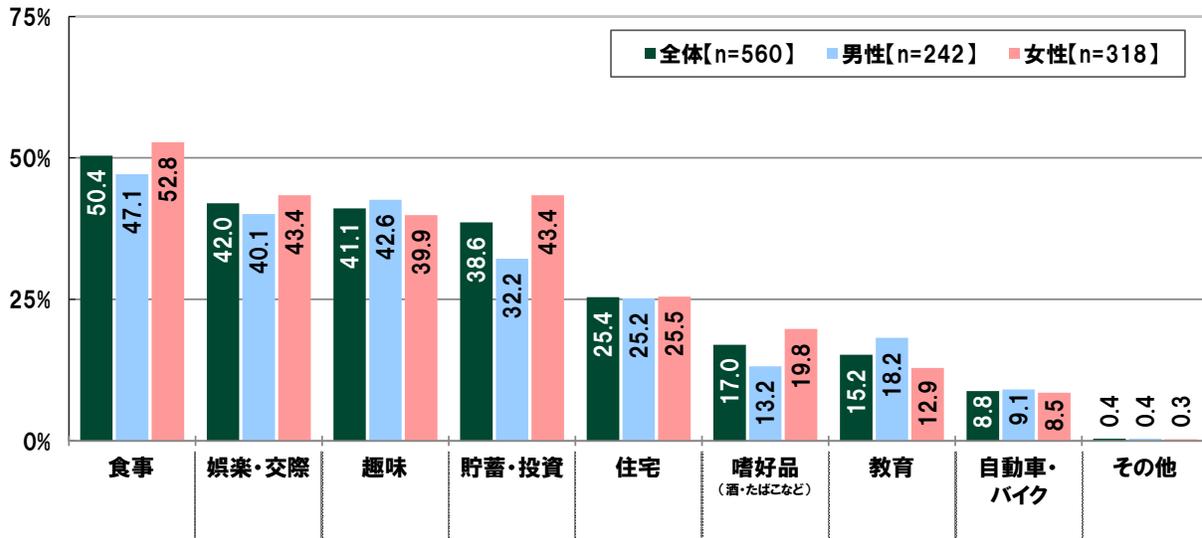
男女別にみると、女性では金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくないと回答した人の割合が63.6%と、男性(48.4%)と比べて15.2ポイント高くなりました。



金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくないと考えている人(560名)に、夫婦になる人と同じ金銭感覚でありたいと思うのは何に関する金銭感覚か聞いたところ、「食事」(50.4%)が最も高くなりました。食事に対しどのくらいのお金をかけるかという感覚に、夫婦間で大きなギャップがないようにしたいと思う人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「娯楽・交際」(42.0%)、「趣味」(41.1%)、「貯蓄・投資」(38.6%)、「住宅」(25.4%)でした。

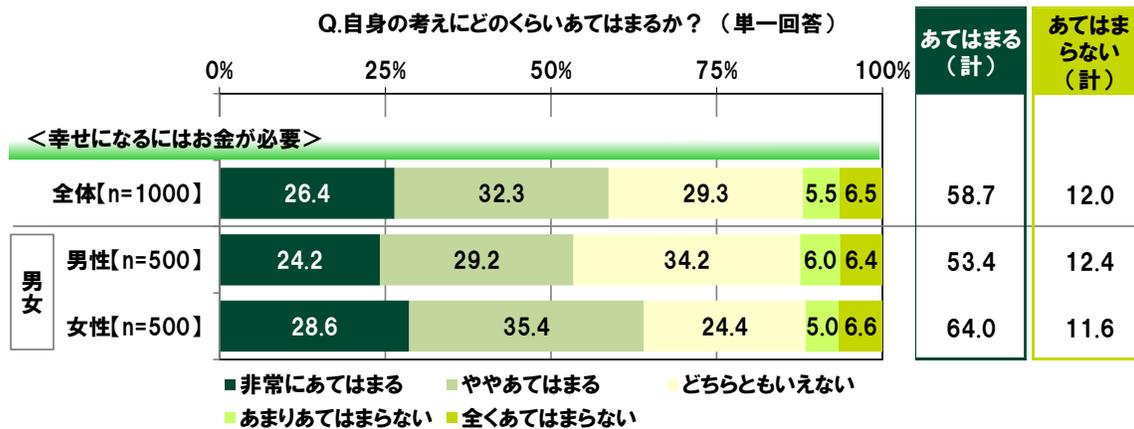
男女別にみると、女性では「貯蓄・投資」が43.4%と、男性(32.2%)と比べて11.2ポイント高くなりました。

Q.夫婦になる人と同じ金銭感覚でありたいと思うのは何に関する金銭感覚か？(複数回答:3つまで)
対象:金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくないと考えている人



さらに、全回答者(1,000名)に、お金と幸せの関係についての意識を聞いたところ、「<幸せになるにはお金が必要>」では『あてはまる(計)』は58.7%となりました。

男女別にみると、女性では幸せになるにはお金が必要と回答した人の割合が64.0%と、男性(53.4%)と比べて10.6ポイント高くなりました。



- ≫ 人生を楽しむために一番大切にしたいと思うもの 1位「お金」2位「趣味」3位「家族」
 20代前半男性では「趣味」、20代後半男性では「趣味」「恋人・パートナー」、
 20代前半女性では「趣味」、20代後半女性では「家族」が1位

全回答者(1,000名)に、人生を楽しむために一番大切にしたいと思うものを聞いたところ、1位「お金」(10.0%)、2位「趣味」(9.9%)、3位「家族」(9.5%)、4位「恋人・パートナー」(8.9%)、5位「自分らしさ」(8.5%)となりました。

男女別にみると、男性では1位「趣味」(11.8%)、2位「お金」(11.4%)、3位「恋人・パートナー」(9.6%)、女性では1位「家族」(13.0%)、2位「自分らしさ」(11.0%)、3位「お金」(8.6%)でした。

男女・年代別にみると、20代前半男性では「趣味」(12.8%)、20代後半男性では「趣味」「恋人・パートナー」(いずれも10.8%)、20代前半女性では「趣味」(10.4%)、20代後半女性では「家族」(16.0%)が1位でした。

Q.人生を楽しむために一番大切にしたいと思うものは？(単一回答)

※全体と男女別は上位10位、男女・年代別は上位5位までを表示

順位	全体[n=1000]	%	順位	男性[n=500]	%	順位	女性[n=500]	%
1位	お金	10.0	1位	趣味	11.8	1位	家族	13.0
2位	趣味	9.9	2位	お金	11.4	2位	自分らしさ	11.0
3位	家族	9.5	3位	恋人・パートナー	9.6	3位	お金	8.6
4位	恋人・パートナー	8.9	4位	心の豊かさ	6.2	4位	恋人・パートナー	8.2
5位	自分らしさ	8.5	5位	家族	6.0	5位	趣味	8.0
6位	心の豊かさ	6.9		自分らしさ	6.0	6位	心の豊かさ	7.6
7位	健康	5.7	8位	生きがい	6.0	7位	健康	5.6
8位	生きがい	5.7		健康	5.8	8位	生きがい	5.4
9位	時間	4.0	9位	時間	4.0	9位	時間	4.0
10位	友人	3.0	10位	友人	3.2	10位	友人	2.8
							社会とのつながり	2.8

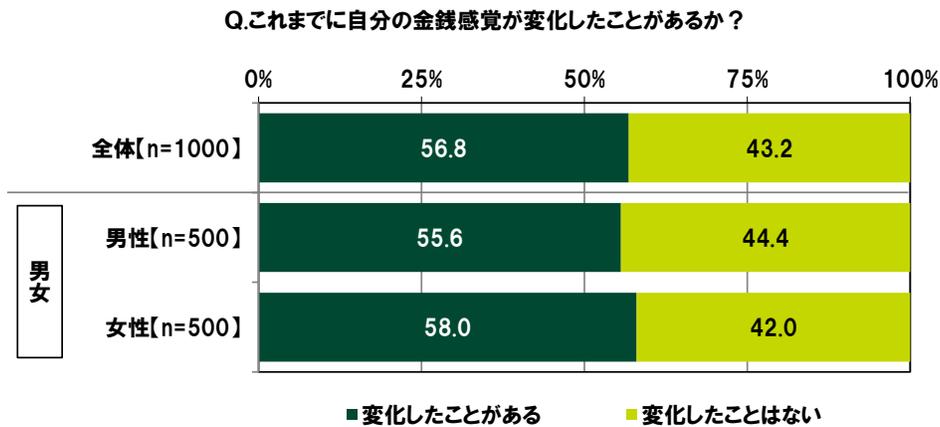
順位	20代前半男性 [n=250]	%	順位	20代後半男性 [n=250]	%	順位	20代前半女性 [n=250]	%	順位	20代後半女性 [n=250]	%
1位	趣味	12.8	1位	趣味	10.8	1位	趣味	10.4	1位	家族	16.0
2位	お金	12.4		恋人・パートナー	10.8	2位	家族	10.0	2位	自分らしさ	12.0
3位	恋人・パートナー	8.4	3位	お金	10.4	4位	自分らしさ	10.0	3位	お金	10.0
4位	自分らしさ	7.6	4位	心の豊かさ	8.0		恋人・パートナー	9.2	4位	恋人・パートナー	7.2
5位	健康	6.0	5位	家族	7.6	5位	心の豊かさ	8.4	5位	心の豊かさ	6.8

≫ 「これまでに自分の金銭感覚が変化したことがある」56.8%

変化したきっかけ 1位「一人暮らしを始めた」2位「クレジットカードを作った」3位「アルバイトを始めた」

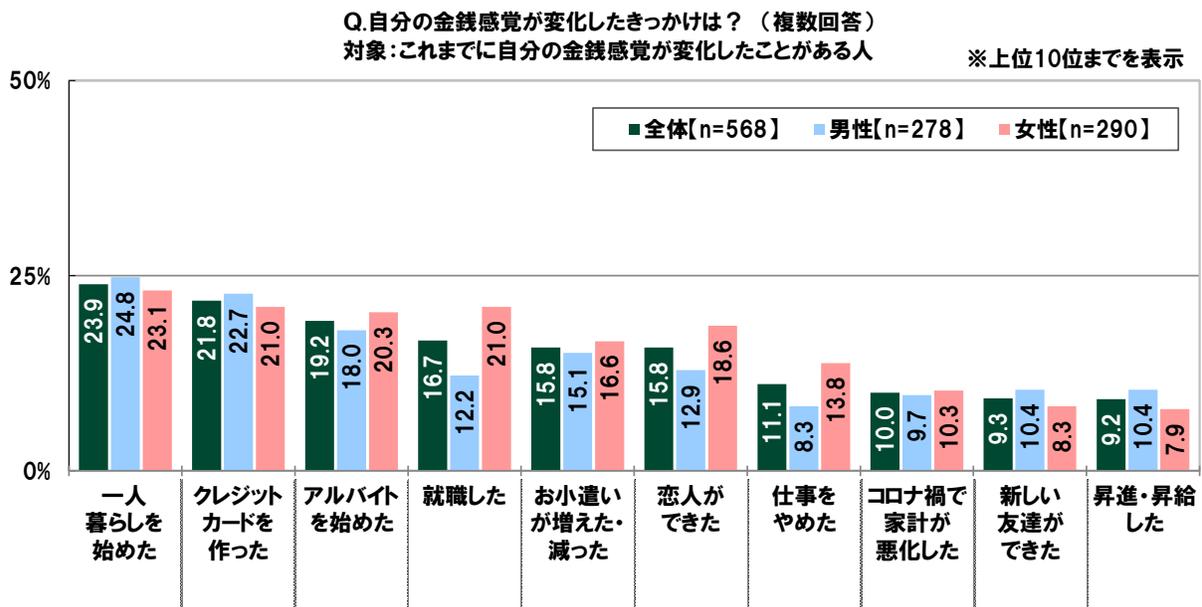
金銭感覚の変化について質問しました。

全回答者(1,000名)に、これまでに自分の金銭感覚が変化したことがあるか聞いたところ、「変化したことがある」は56.8%、「変化したことはない」は43.2%となりました。



これまでに自分の金銭感覚が変化したことがある人(568名)に、金銭感覚が変化したきっかけを聞いたところ、「一人暮らしを始めた」(23.9%)が最も高くなり、「クレジットカードを作った」(21.8%)、「アルバイトを始めた」(19.2%)、「就職した」(16.7%)、「お小遣いが増えた・減った」「恋人ができた」(いずれも15.8%)が続きました。

男女別にみると、女性では「就職した」が21.0%、「恋人ができた」が18.6%、「仕事をやめた」が13.8%と、男性(順に12.2%、12.9%、8.3%)と比べて5ポイント以上高くなりました。女性には、仕事や恋愛がきっかけで金銭感覚が変わったと感じている人が多いようです。



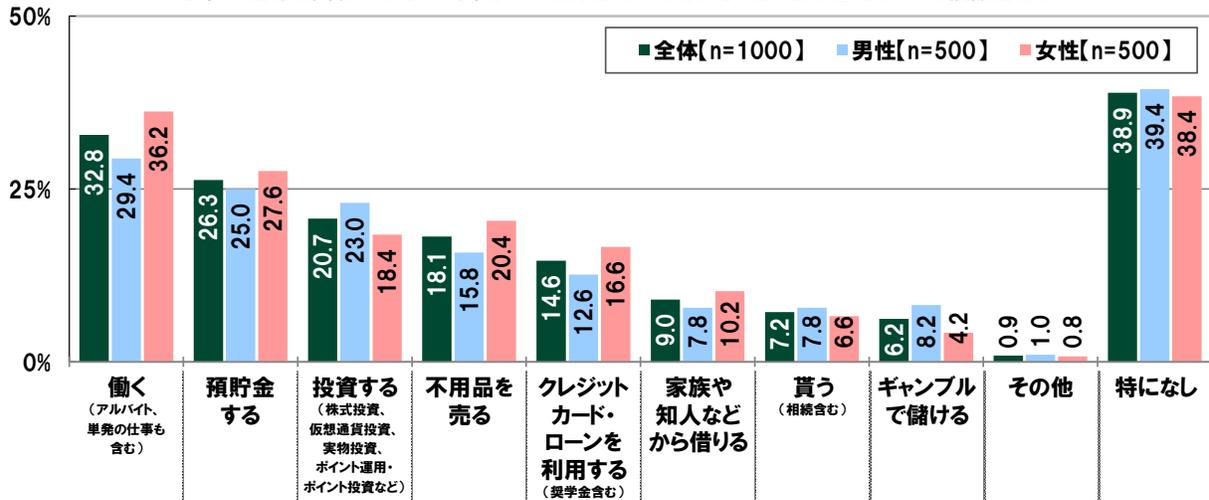
≫ 夢や目標を実現するための費用の準備方法 TOP3 は「働く」「預貯金する」「投資する」

全回答者(1,000名)に、夢や目標を実現するための費用の準備方法について質問しました。

まず、利用したことがある方法を聞いたところ、「働く(アルバイト、単発の仕事も含む)」(32.8%)が最も高くなり、「預貯金する」(26.3%)、「投資する(株式投資、仮想通貨投資、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など)」(20.7%)、「不用品を売る」(18.1%)、「クレジットカード・ローンを利用する(奨学金含む)」(14.6%)が続きました。

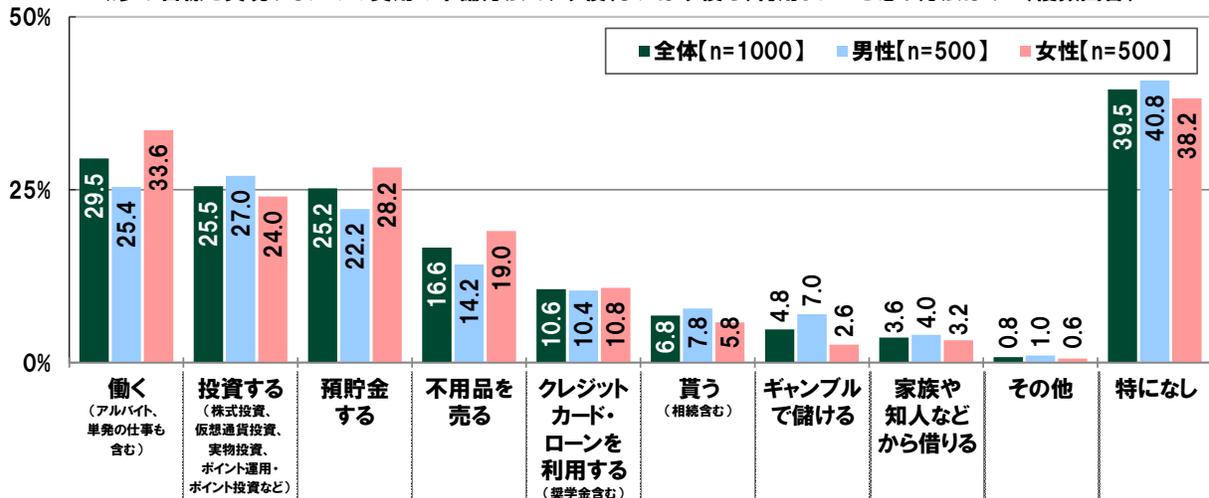
男女別にみると、女性では「働く(アルバイト、単発の仕事も含む)」が36.2%と、男性(29.4%)と比べて6.8ポイント高くなりました。

Q.夢や目標を実現するための費用の準備方法で、利用したことがある方法は？（複数回答）



また、今後(または今後も)利用したいと思う方法を聞いたところ、「働く(アルバイト、単発の仕事も含む)」(29.5%)が最も高くなり、「投資する(株式投資、仮想通貨投資、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など)」(25.5%)、「預貯金する」(25.2%)、「不用品を売る」(16.6%)、「クレジットカード・ローンを利用する(奨学金含む)」(10.6%)が続きました。

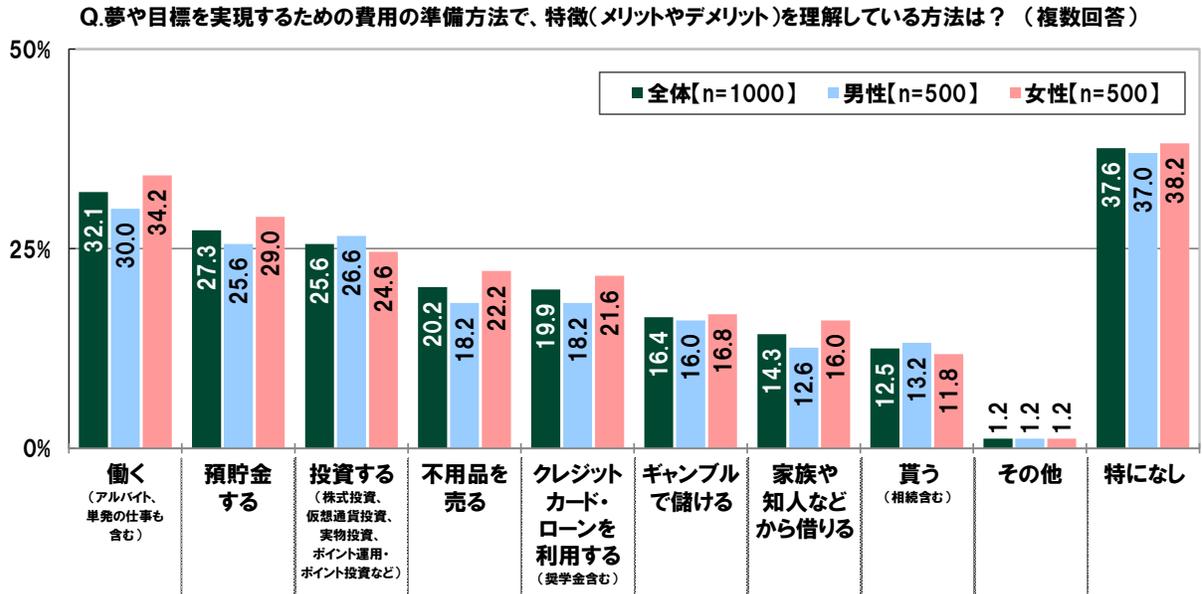
Q.夢や目標を実現するための費用の準備方法で、今後(または今後も)利用したいと思う方法は？（複数回答）



≫ 金融サービスのメリット・デメリットの理解率「投資」は3割未満、「クレジットカード・ローンの利用」は2割にとどまる

夢や目標を実現するための費用の準備方法で、特徴(メリットやデメリット)を理解している方法を聞いたところ、「働く(アルバイト、単発の仕事も含む)」(32.1%)が最も高くなりました。

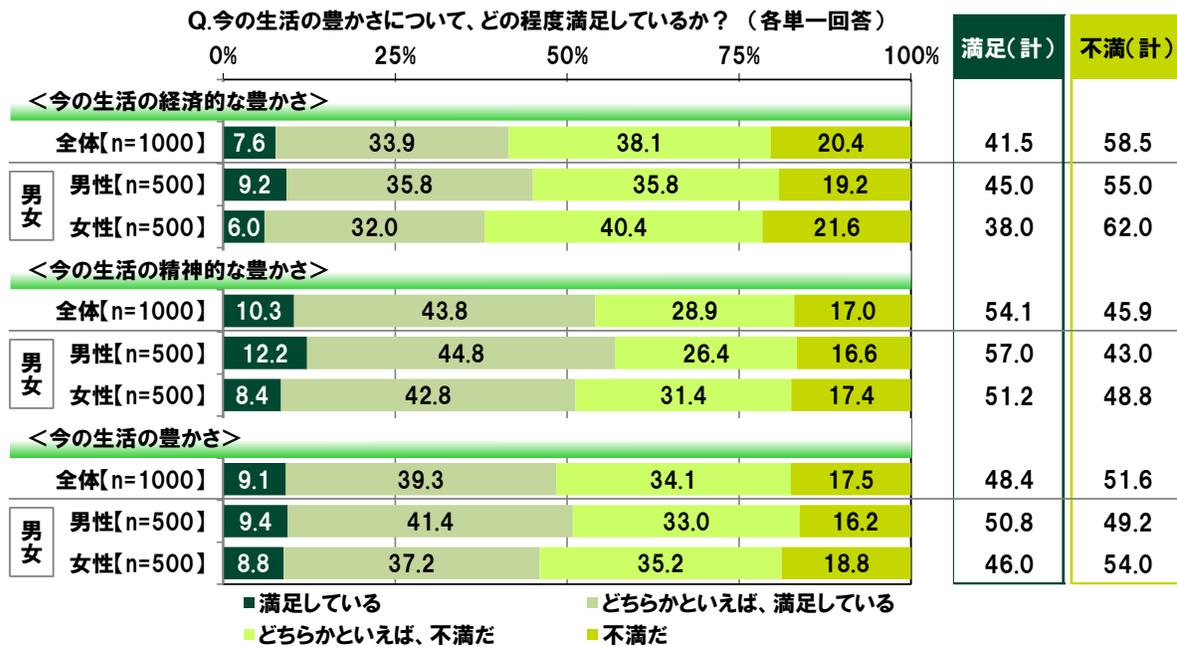
他方、「投資する(株式投資、仮想通貨投資、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など)」(25.6%)は3割未満、「クレジットカード・ローンを利用する(奨学金含む)」(19.9%)は2割にとどまりました。トラブルに遭遇するリスクを回避するためには、金融リテラシーの向上に取り組み、投資やクレジットカード・ローンといった金融サービスについて、メリット・デメリットをしっかりと理解することが欠かせません。



- ▶ 今の生活の豊かさ満足度「経済的な豊かさ」41.5%、「精神的な豊かさ」54.1%
- ▶ 今の生活の総合的な満足度は 2014 年調査から 11.0 ポイント下降し 48.4%

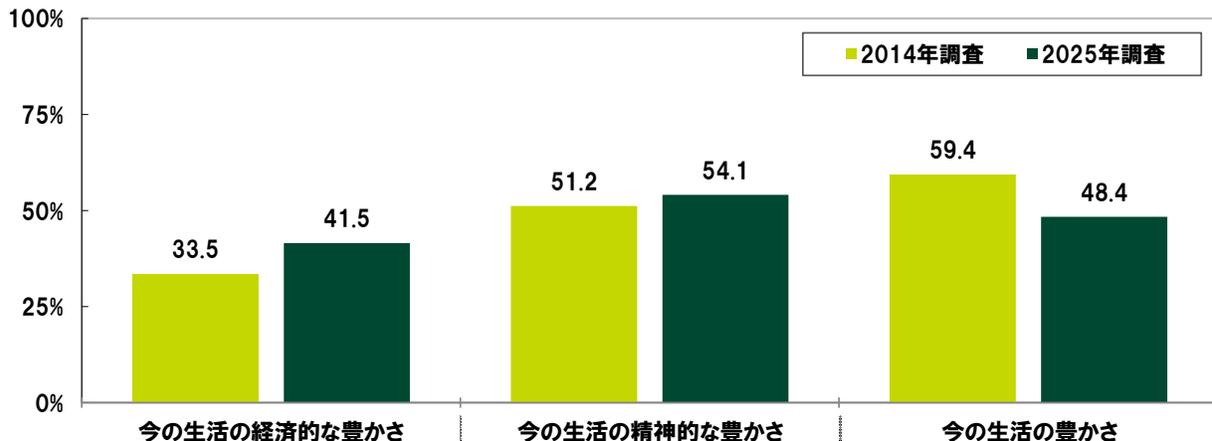
今の生活の豊かさの実感について質問しました。

全回答者(1,000名)に、今の生活の豊かさについて、どの程度満足しているか聞いたところ、<今の生活の経済的な豊かさ>では「満足している」が 7.6%、「どちらかといえば、満足している」が 33.9%で合計した『満足(計)』は 41.5%、「不満だ」が 20.4%、「どちらかといえば、不満だ」が 38.1%で合計した『不満(計)』は 58.5%となり、<今の生活の精神的な豊かさ>では『満足(計)』は 54.1%、『不満(計)』は 45.9%となりました。精神面では満足した生活を送れていると感じている人が多くなった一方、経済面では不満を抱えながら生活を送っている人が多い結果となりました。また、<今の生活の豊かさ>では『満足(計)』は 48.4%、『不満(計)』は 51.6%となりました。



ここで、第 1 回の調査結果と比較すると、<今の生活の経済的な豊かさ>で『満足(計)』と回答した人の割合は 2014 年 33.5%→2025 年 41.5%と 8.0 ポイントの上昇、<今の生活の精神的な豊かさ>で『満足(計)』と回答した人の割合は 2014 年 51.2%→2025 年 54.1%と 2.9 ポイントの上昇となったのに対し、<今の生活の豊かさ>で『満足(計)』と回答した人の割合は 2014 年 59.4%→2025 年 48.4%と 11.0 ポイントの下降となりました。

今の生活の豊かさについて、満足している人の割合の変化



【ライフイベントと収入事情】

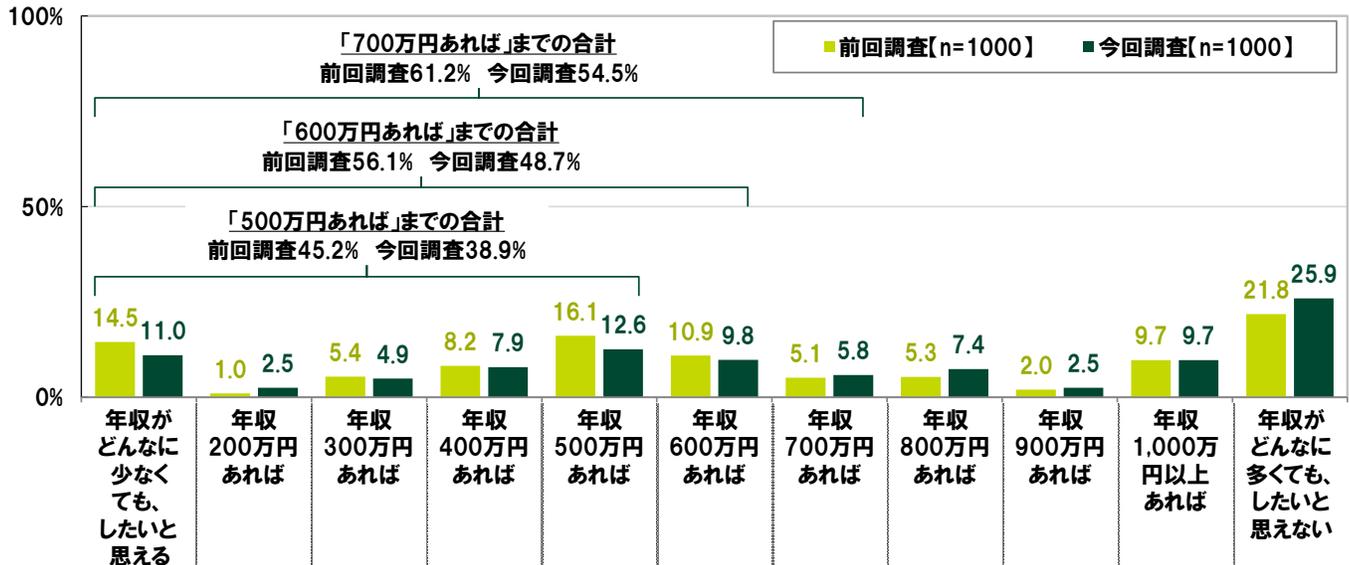
- ≫ 20代の半数以上が結婚しようと思えるのは「年収700万円」、前回調査からハードルが上昇
- ≫ 「年収がどんなに多くても結婚したいと思えない」25.9%

ライフイベントと年収の関係について質問しました。

全回答者(1,000名)に、結婚しようと思える世帯年収額を聞いたところ、年収500万円以下と思える割合(「年収500万円あれば」までの合計)は38.9%、年収600万円以下と思える割合(「年収600万円あれば」までの合計)は48.7%、年収700万円以下と思える割合(「年収700万円あれば」までの合計)は54.5%となり、20代の半数以上が結婚をイメージできるのは年収700万円であることがわかりました。また、「年収がどんなに多くても、したいと思えない」は25.9%となりました。

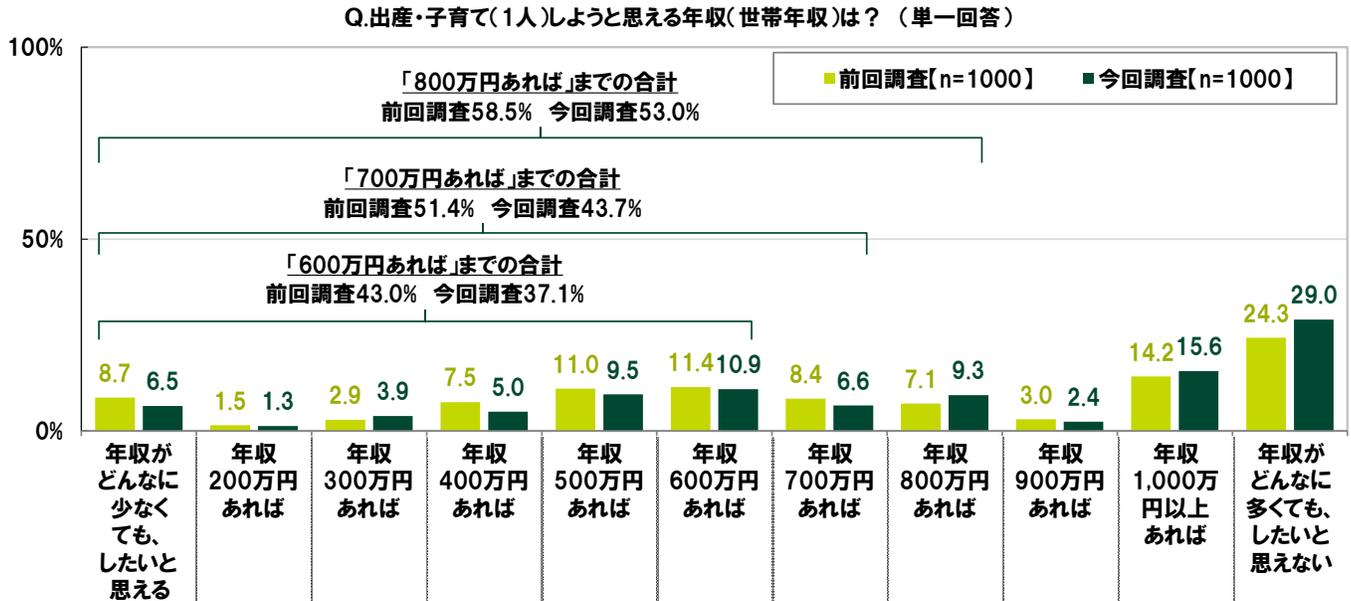
前回の調査結果と比較すると、半数以上が結婚しようと思えるのは、前回調査では年収600万円(56.1%)、今回調査では年収700万円(54.5%)と、結婚へのハードルが上昇する結果となりました。また、「年収がどんなに多くても、したいと思えない」と回答した人の割合は、前回調査21.8%→今回調査25.9%と4.1ポイント上昇しました。

Q.結婚しようと思える年収(世帯年収)は？(単一回答)



≫ 20代の半数以上が1人目の子育てに前向きになるのは「年収800万円」、前回調査からハードルが上昇

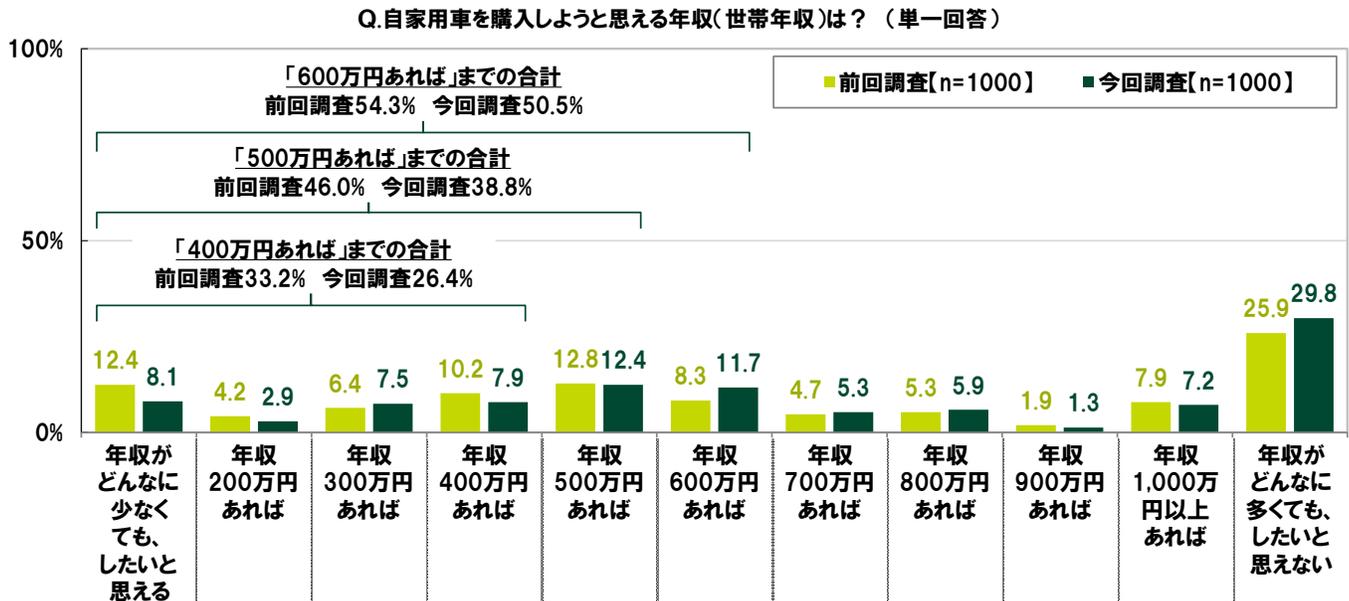
出産・子育て(1人)しようと思える世帯年収額を聞いたところ、20代の半数以上がイメージできるのは、前回調査では年収700万円(51.4%)、今回調査では年収800万円(53.0%)と、ハードルが上昇しました。また、「年収がどんなに多くても、したいと思えない」と回答した人の割合は、前回調査24.3%→今回調査29.0%と4.7ポイント上昇しました。



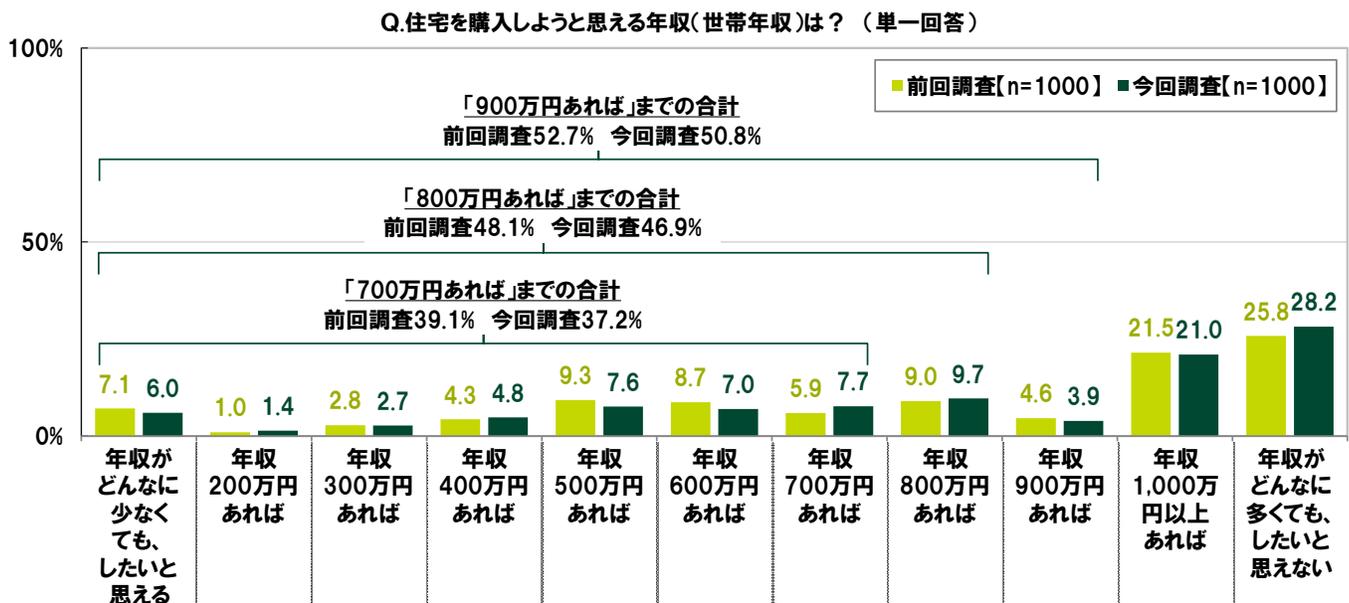
- ≫ 20代の半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは「年収600万円」
- ≫ 20代の半数以上が住宅を購入しようと思えるのは「年収900万円」

自家用車を購入しようと思える世帯年収額を聞いたところ、年収400万円以下でしようと思える割合は26.4%、年収500万円以下でしようと思える割合は38.8%、年収600万円以下でしようと思える割合は50.5%と、半数以上が自家用車の購入をイメージできるのは年収600万円となりました。

前回の調査結果と比較すると、半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは前回調査では年収600万円(54.3%)、今回調査でも年収600万円(50.5%)でした。



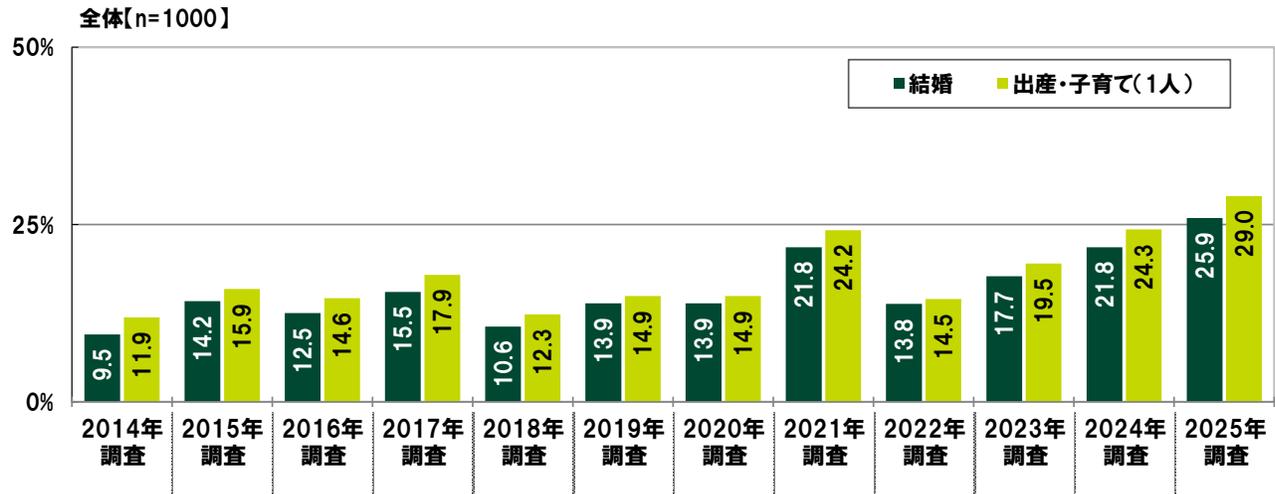
また、住宅を購入しようと思える世帯年収額を聞いたところ、20代の半数以上がイメージできるのは、前回調査では年収900万円(52.7%)、今回調査でも年収900万円(50.8%)でした。



ここで、第1回の調査結果からの推移をみると、「年収がどんなに多くても、したいと思えない」と回答した人の割合は、＜結婚＞では2014年は9.5%と1割にとどまっていたものの、徐々に上昇し2021年や2024年(いずれも21.8%)では2割台となり、2025年は25.9%と2014年の約3倍となっています。

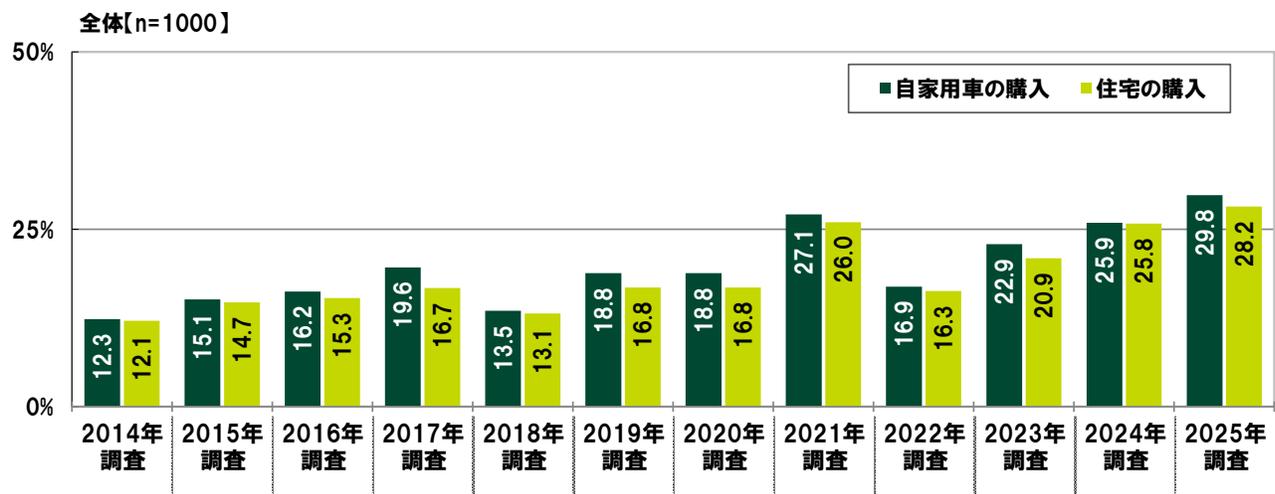
＜出産・子育て＞でも同様の傾向がみられ、2014年は11.9%となっていたものの、2021年(24.2%)や2024年(24.3%)では2割台となり、2025年(29.0%)では3割になりました。

年収がどんなに多くても、結婚／出産・子育て(1人)したいと思えない人の割合の変化



また、＜自家用車の購入＞では2014年は12.3%、＜住宅の購入＞では2014年は12.1%と1割台前半となっていたものの、2021年には＜自家用車の購入＞で27.1%、＜住宅の購入＞で26.0%とどちらも2割半を超え、2025年は＜自家用車の購入＞で29.8%、＜住宅の購入＞で28.2%と調査開始以来最も高くなりました。

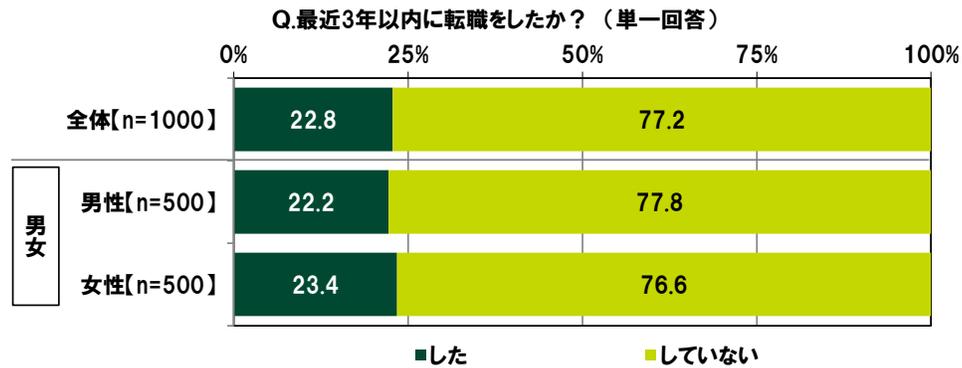
年収がどんなに多くても、自家用車／住宅を購入したいと思えない人の割合の変化



- ≫ 「最近3年以内にした転職の目的には年収のアップが含まれていた」最近3年以内に転職をした人の54.4%
- ≫ 最近3年以内に転職をした人で転職の目的に年収のアップが含まれていた人の86.3%が「年収がアップした」と回答

続いて、転職の状況について質問しました。

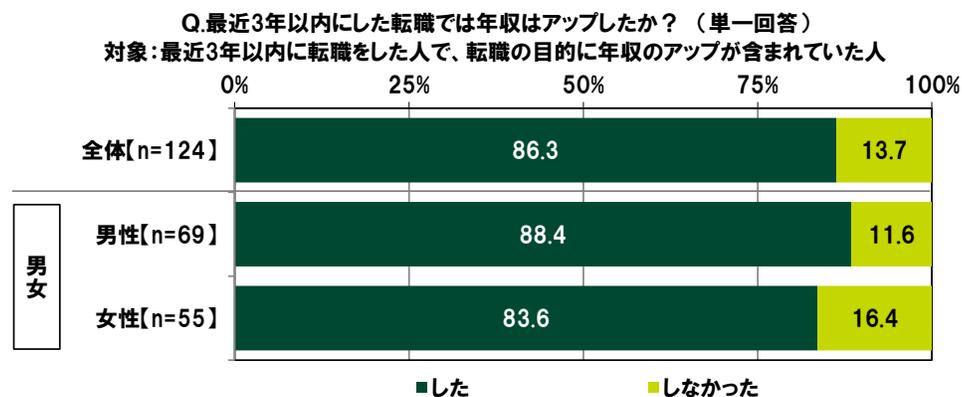
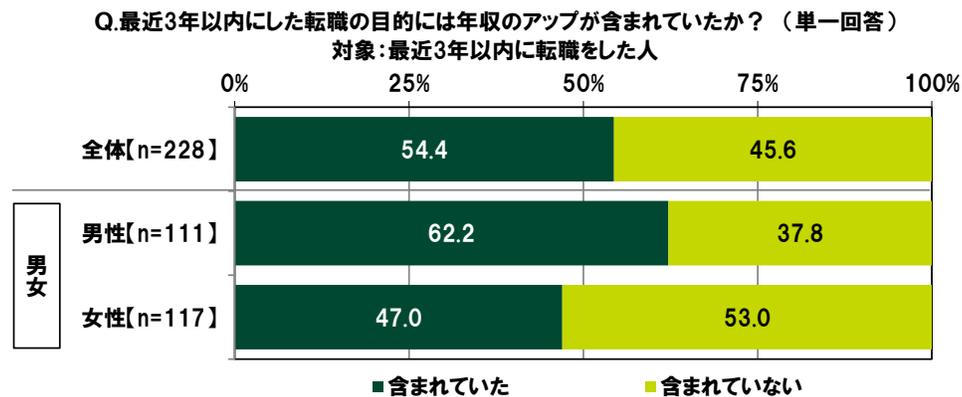
まず、全回答者(1,000名)に、最近3年以内に転職をしたか聞いたところ、「した」は22.8%、「していない」は77.2%となりました。



次に、最近3年以内に転職をした人(228名)に、最近3年以内にした転職の目的には年収のアップが含まれていたか聞いたところ、「含まれていた」は54.4%、「含まれていない」は45.6%となりました。

男女別にみると、「含まれていた」と回答した人の割合は男性では62.2%と、女性(47.0%)と比べて15.2ポイント高くなりました。

また、最近3年以内に転職をした人で、転職の目的に年収のアップが含まれていた人(124名)に、最近3年以内にした転職では年収はアップしたか聞いたところ、「した」は86.3%、「しなかった」は13.7%と、大多数の人が年収アップに成功している結果となりました。



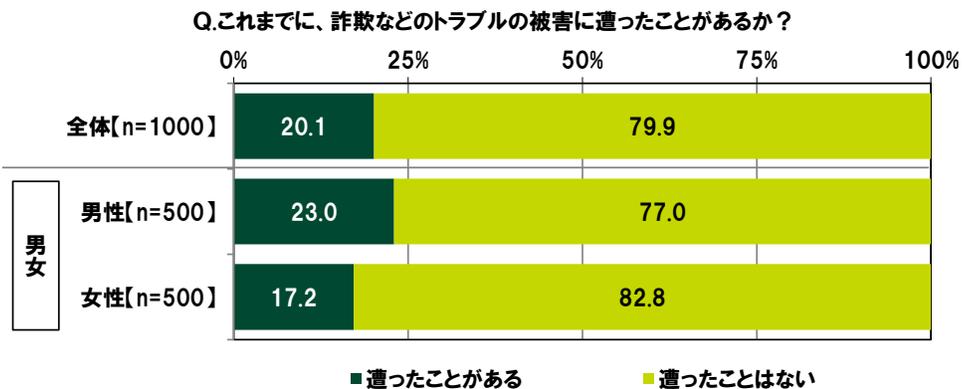
【20代のマネートラブル経験と金融リテラシー】

- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある」20代の5人に1人
 経験した詐欺被害 TOP3 は「ネットオークション詐欺」「マルチ商法・ねずみ講」「フィッシング詐欺」
- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある」20代の4人に1人

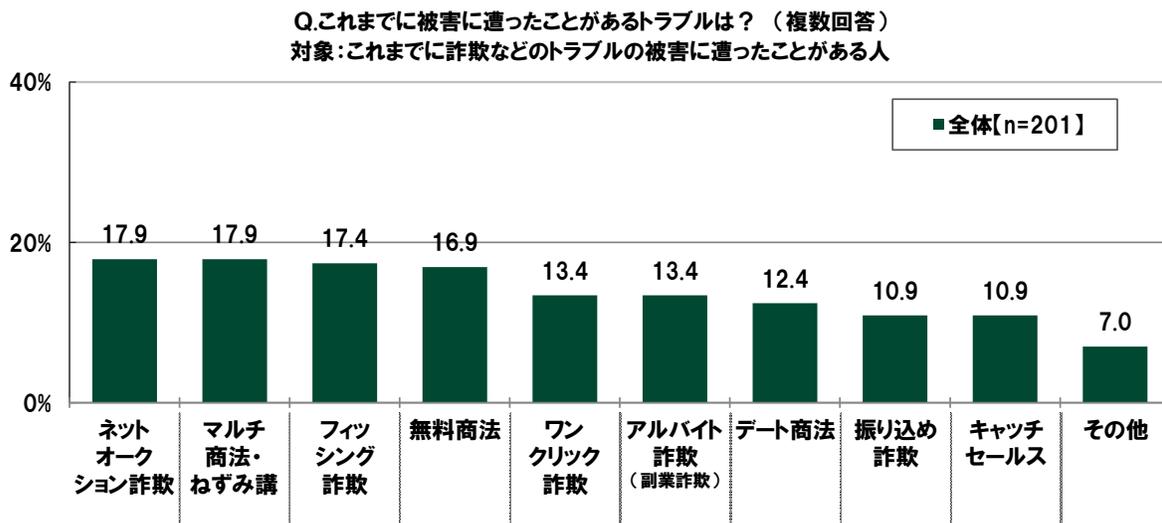
詐欺などのお金に関するトラブルについて質問しました。

全回答者(1,000名)に、これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがあるか聞いたところ、「遭ったことがある」は20.1%、「遭ったことはない」は79.9%となりました。

男女別にみると、「遭ったことがある」と回答した人の割合は男性では23.0%と、女性(17.2%)と比べて5.8ポイント高くなりました。

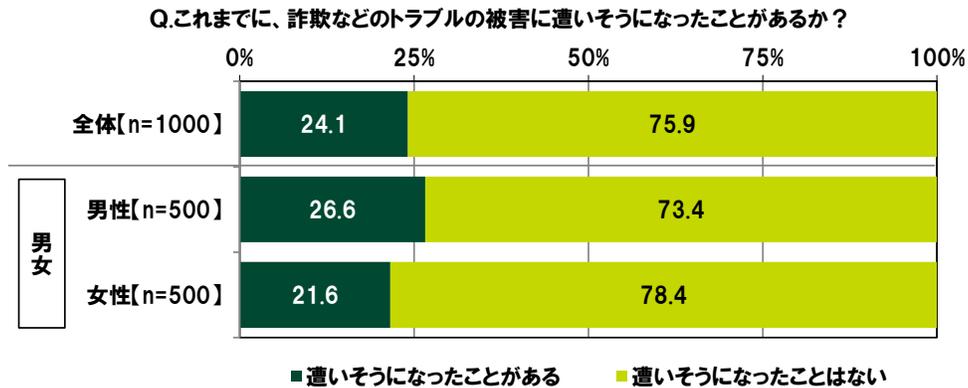


これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある人(201名)に、被害に遭ったことがあるトラブルを聞いたところ、「ネットオークション詐欺」「マルチ商法・ねずみ講」(いずれも17.9%)が最も高くなり、「フィッシング詐欺」(17.4%)、「無料商法」(16.9%)、「ワンクリック詐欺」「アルバイト詐欺(副業詐欺)」(いずれも13.4%)が続きました。

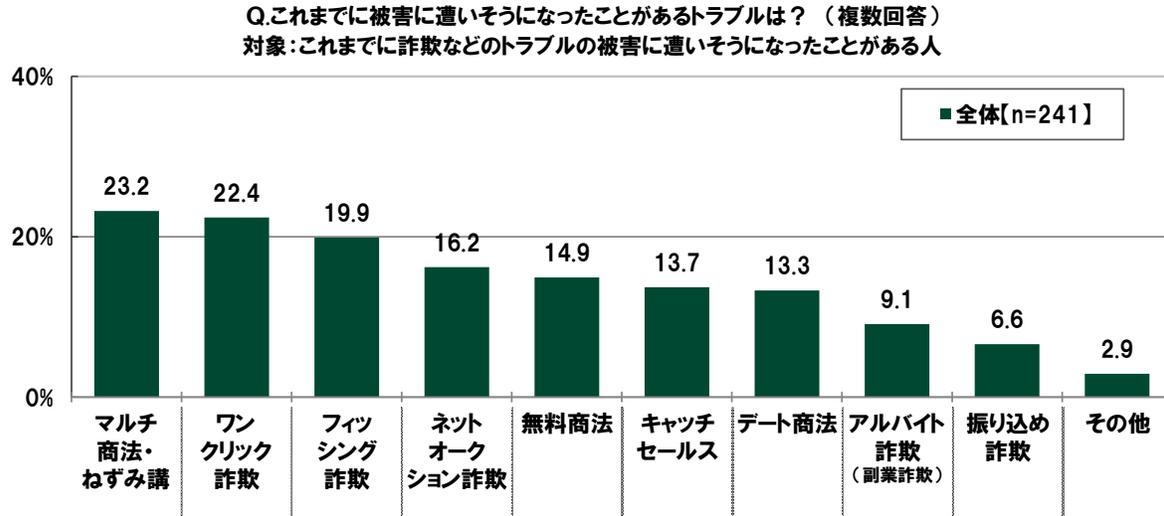


また、全回答者(1,000名)に、これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがあるか聞いたところ、「遭いそうになったことがある」は24.1%、「遭いそうになったことはない」は75.9%となりました。

男女別にみると、「遭いそうになったことがある」と回答した人の割合は男性では26.6%と、女性(21.6%)と比べて5.0ポイント高くなりました。



これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある人(241名)に、被害に遭いそうになったことがあるトラブルを聞いたところ、「マルチ商法・ねずみ講」(23.2%)が最も高くなり、「ワンクリック詐欺」(22.4%)、「フィッシング詐欺」(19.9%)、「ネットオークション詐欺」(16.2%)、「無料商法」(14.9%)が続きました。

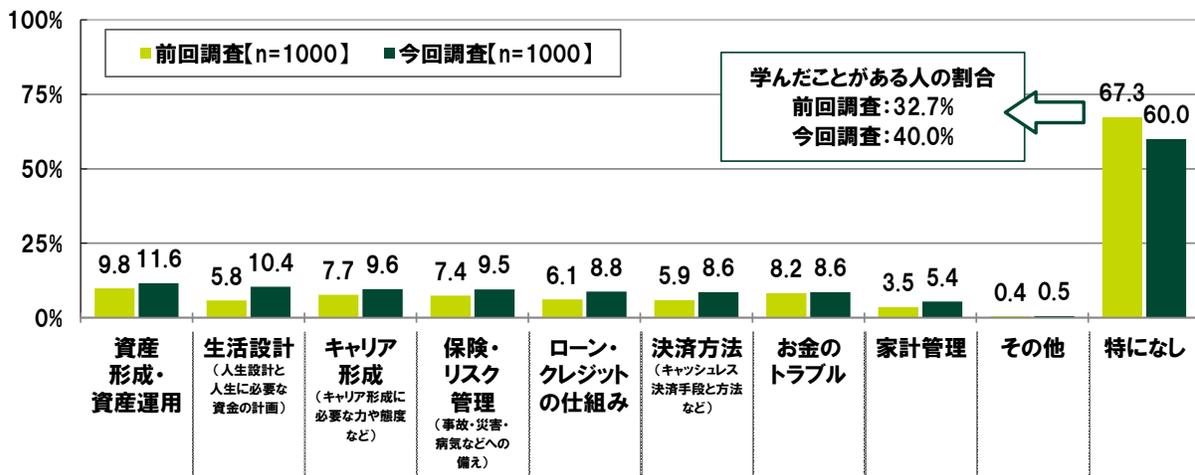


- ≫ 「セミナーや学校・職場で“金融知識”を学んだことがある」40.0%、前回調査から 7.3 ポイント上昇
 学んだことがある“金融知識” 1位「資産形成・資産運用」2位「生活設計」3位「キャリア形成」
- ≫ これから学びたいと思う“金融知識” 1位「資産形成・資産運用」2位「生活設計」3位「保険・リスク管理」

全回答者(1,000名)に、セミナーや学校・職場で学んだことがある“金融知識”を聞いたところ、1位「資産形成・資産運用」(11.6%)、2位「生活設計(人生設計と人生に必要な資金の計画)」(10.4%)、3位「キャリア形成(キャリア形成に必要な力や態度など)」(9.6%)、4位「保険・リスク管理(事故・災害・病気などへの備え)」(9.5%)、5位「ローン・クレジットの仕組み」(8.8%)となりました。また、学んだことがない人の割合(「特になし」を回答した人の割合)は60.0%、学んだことがある人の割合は40.0%でした。

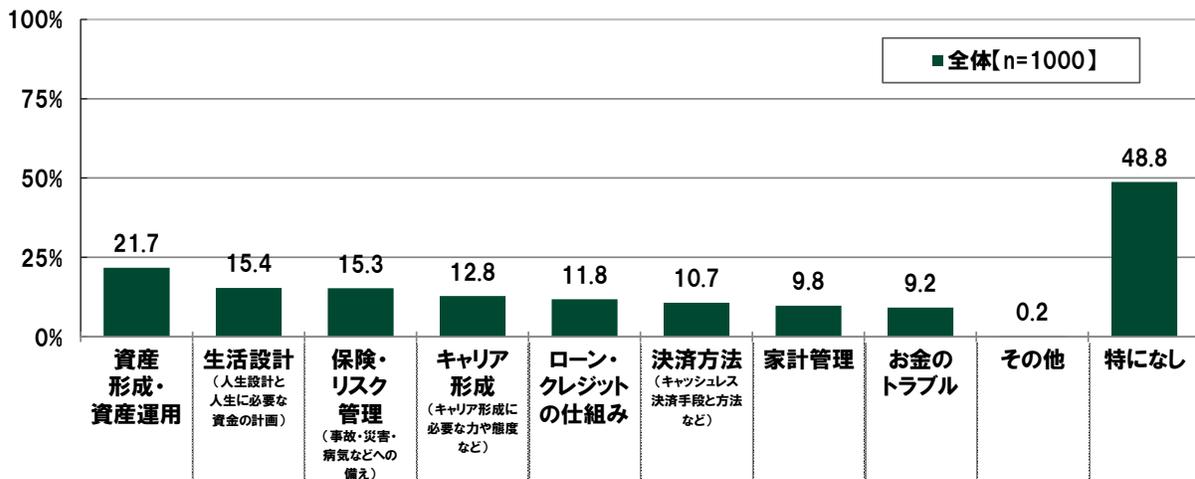
前回の調査結果と比較すると、学んだことがある人の割合は、前回調査 32.7%→今回調査 40.0%と 7.3 ポイント上昇しました。

Q.セミナーや学校・職場で学んだことがある“金融知識”は？(複数回答)



これから学びたいと思う“金融知識”を聞いたところ、1位「資産形成・資産運用」(21.7%)、2位「生活設計(人生設計と人生に必要な資金の計画)」(15.4%)、3位「保険・リスク管理(事故・災害・病気などへの備え)」(15.3%)、4位「キャリア形成(キャリア形成に必要な力や態度など)」(12.8%)、5位「ローン・クレジットの仕組み」(11.8%)となりました。

Q.これから学びたいと思う“金融知識”は？(複数回答)



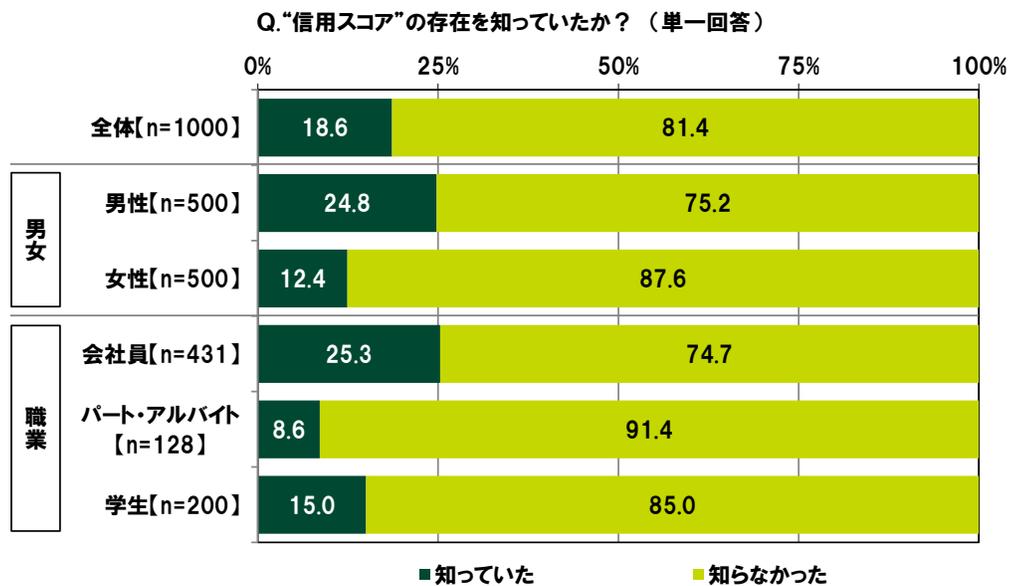
- ≫ 「“信用スコア”の存在を知っていた」18.6%、会社員では 25.3%
- ≫ 「自分の“信用スコア”を確認したい」29.8%、信用スコアの存在を知っていた人では 66.7%
- ≫ 「自分の“信用スコア”を確認した」信用スコアの存在を知っていた人の 33.3%

昨年(2024年)11月から、自身の“信用スコア”を閲覧できるサービスが開始されました。信用スコアとは、個人の信用力を数値化した指標で、金融機関やクレジット会社等の与信判断の際に用いられています。

全回答者(1,000名)に、“信用スコア”の存在を知っていたか聞いたところ、「知っていた」は18.6%、「知らなかった」は81.4%と、20代の大多数は“信用スコア”について認知していなかったことがわかりました。

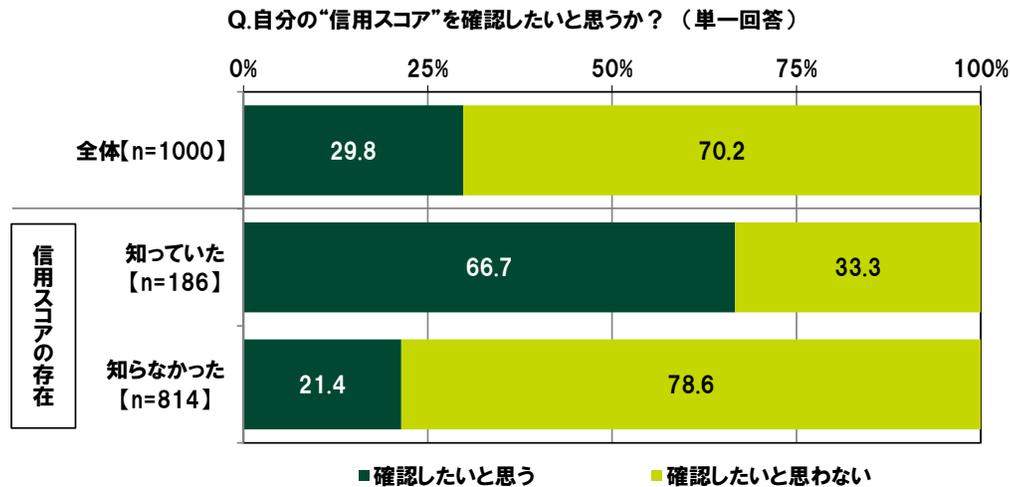
男女別にみると、「知っていた」と回答した人の割合は男性では24.8%と、女性(12.4%)の2倍となりました。

職業別にみると、「知っていた」と回答した人の割合は会社員では25.3%と、パート・アルバイト(8.6%)や学生(15.0%)と比べて高くなりました。



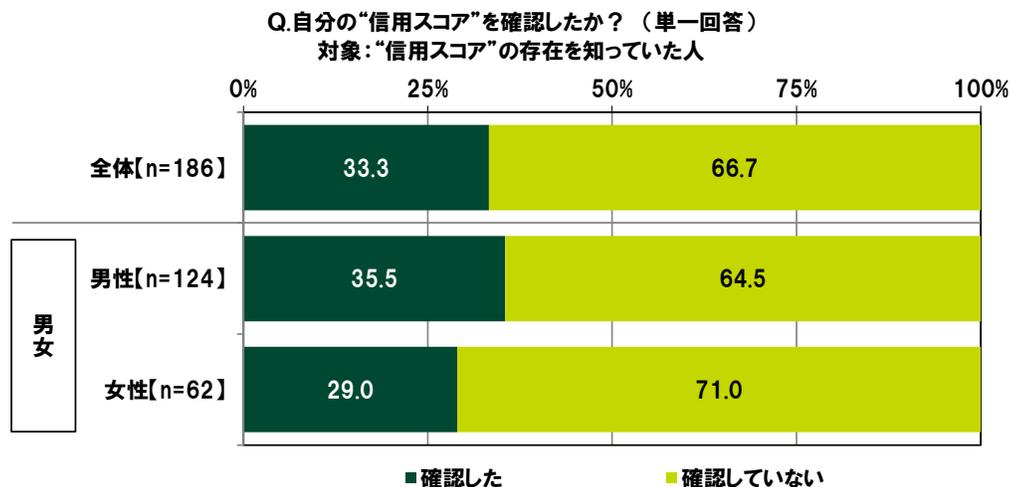
また、自分の“信用スコア”を確認したいか聞いたところ、「確認したいと思う」は 29.8%、「確認したいと思わない」は 70.2%となりました。

信用スコアの存在の認知状況別にみると、「確認したいと思う」と回答した人の割合は、信用スコアの存在を知っていた人では 66.7%と、知らなかった人(21.4%)と比べて 45.3 ポイント高くなりました。



“信用スコア”の存在を知っていた人(186名)に、自分の“信用スコア”を確認したか聞いたところ、「確認した」は 33.3%、「確認していない」は 66.7%と、“信用スコア”の存在を知っていても、自分の信用スコアの閲覧はしていないという人が多数でした。

男女別にみると、「確認した」と回答した人の割合は、男性では 35.5%と、女性(29.0%)と比べて 6.5 ポイント高くなりました。



《調査概要》

- ◆調査タイトル : 20代の金銭感覚についての意識調査 2025
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳～29歳の男女
- ◆調査期間 : 2025年2月19日～21日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル

(内訳)	20代前半	20代後半
男性	250	250
女性	250	250

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本リリースの内容の転載にあたりましては、
「SMBCコンシューマーファイナンス調べ」と付記のうえ、
ご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社

担当 : 広報室 岡田、佐藤、田中

TEL : 03-6887-1274

Eメール : corporate_info@smbc-cf.com

受付時間 : 9時00分～17時30分(月～金)

■■会社概要■■

会社名 : SMBCコンシューマーファイナンス株式会社

(英訳名 SMBC Consumer Finance Co., Ltd.)

設立 : 1962年(昭和37年)3月20日

代表者名 : 高橋 照正

所在地 : 東京都江東区豊洲二丁目2番31号

事業内容 : 貸金業・保証業